

日本気象学会 2007年度秋季大会

会期：2007年10月14日（日）～16日（火）

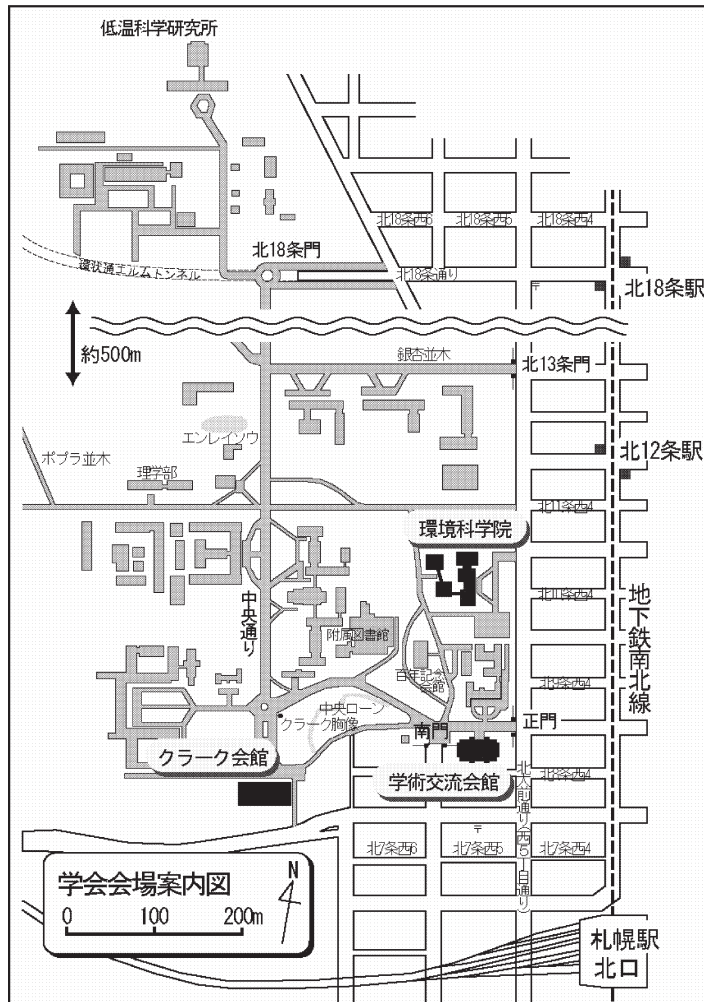
会場：北海道大学 学術交流会館・環境科学院・クラーク会館（札幌市北区北8条西5丁目）

大会実行委員会担当機関：札幌管区気象台，北海道大学低温科学研究所，
北海道大学大学院地球環境科学研究院，北海道大学大学院理学研究院，
北海道大学大学院工学研究科，（財）日本気象協会北海道支社，
札幌総合情報センター株式会社

大会委員長：岡野 誠（札幌管区気象台）

当日の会場への連絡先：北海道大学 学術交流会館 会館事務所（電話：011-706-2141）

会場案内図



交通の案内

- (1) 新千歳空港からJR札幌駅まで
JR：快速エアポートが15分間隔
（所要時間36分間）
料金1,040円
バス：新千歳空港ターミナルから
JR札幌駅まで（高速道路
経由）中央バス・北都交通
バスが航空機到着の都度
（所要時間約75分）
料金1,000円
- (2) JR札幌駅から会場（北海道大学学
術交流会館）まで
徒歩5分（JR札幌駅西改札口を出
て右側の駅北口から）

大会行事予定

A会場 : 学術交流会館 講堂
 B会場 : 学術交流会館 小講堂
 C会場 : 学術交流会館 第一会議室
 D会場 : (14日) 環境科学院 C104講義室
 (15~16日) クラーク会館 講堂
 ポスター会場 : 学術交流会館 1階ホール, 2階ホワイト

シンポジウム・各賞授与式会場 : 学術交流会館 講堂

受付 : 学術交流会館 1階ホール
 大会事務局 : 学術交流会館 第2会議室

懇親会 : サッポロビール園 (札幌市東区北7条東9丁目)

() は講演数, - は座長

		A会場	B会場	C会場	D会場
10月 14日 (日)	09:30~ 12:30	気候システム I (19, A101~A119) -尾瀬智昭-	熱帯大気 (19, B101~B119) -山田広幸- -寺尾 徹-	降水システム I (16, C101~C116) -折笠成宏-	大気境界層 (19, D101~D119) -大橋唯太- -清野直子-
	13:30~ 14:00	第34期理事長学術講演			
	14:00~ 16:30	シンポジウム「雪氷圏から語る気象と気候」 司会 : 藤吉康志 基調講演 : 青木輝夫, 廣田知良, 大畑哲夫, 三寺史夫, 保坂征宏			
	17:00~ 18:00	ポスター・セッション (93, P101~P193)			
10月 15日 (月)	09:15~ 12:00	気候システム II (17, A201~A217) -鬼頭昭雄-	気象予報 (16, B201~B216) -宮本健吾-	降水システム II (16, C201~C216) -安永数明-	エアロゾル (17, D201~D217) -渡辺幸一-
	13:00~ 15:30	スペシャルセッション 「産業と気象」 (11, A251~A261) -酒井重典-	大気力学 (13, B251~B263) -杉本憲彦-	降水システム III (14, C251~C264) -坪木和久-	微量気体 (15, D251~D265) -北 和之-
	15:45~ 17:30	山本正野論文賞・堀内賞授与式 山本正野論文賞・堀内賞記念講演			
	18:30~ 20:30	懇親会			
10月 16日 (火)	09:15~ 11:30	スペシャルセッション 「静止衛星観測 I」 (11, A301~A311) -中澤哲夫-	スペシャルセッション 「さまざまな対流」 (10, B301~B310) -杉山耕一朗-	相互作用 (13, C301~C313) -見延庄士郎-	中層大気 (12, D301~D312) -西井和晃-
	11:30~ 12:30	ポスター・セッション (93, P301~P393)			
	13:30~ 17:00	スペシャルセッション 「静止衛星観測 II」 (17, A351~A367) -早坂忠裕- -高橋暢宏- -秋元 肇- -中澤哲夫- -笠井康子-	スペシャルセッション 「熱帯低気圧の力学研究・モデリング・予報の未来」 (18, B351~B368) -上野 充- -坪木和久- -別所康太郎- -筒井純一-	放射 (8, C351~C358) -小林隆久- 観測手法 (11, C361~C371) -永井智広-	気候システム III (22, D351~D372) -水野 量- -田 少奮-

発表件数 : 500件 (口頭発表314, ポスター186)

口頭発表の講演・質疑時間 : 7分と2分

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052茨城県つくば市長峰1-1気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail:kouenkikaku2007a@mri-jma.go.jp) まで

大会参加費・懇親会費

大会参加費

- 大会参加費は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者A	8,000円	—
講演者B	5,000円	—
聴講者	3,000円	4,000円

- 講演者の種別：

講演者A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）

講演者B：講演者Aに該当しない講演者

- 講演件数が2件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。

- シンポジウムのみに参加する場合は、参加費は無料です。

懇親会費

- 懇親会費は以下の表の通りです。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	5,000円	5,500円
学生	4,500円	5,000円

支払方法

- 講演者の参加費の支払い方法は前納のみとなっております。既に受付は締め切られています。
- 懇親会費及び聴講者の参加費を前納する場合は、大会ホームページにて2007年9月11日（火）までにお支払下さい（郵便振替の場合は2007年9月4日（火）まで）。それを過ぎた場合は当日払いとなります。

領収書

- 領収書は参加者本人の名義で、大会当日受付にて名札と一緒に手渡される予定です。
- 名義の変更が必要な場合には再発行が可能ですので、大会当日受付にてお申し出下さい。

その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・懇親会費には会員・非会員の区別はありません。
- 非会員の方も規定の参加費・懇親会費をお支払い頂ければ大会・懇親会に会員と同様に参加することができます。

講演の方法

一般口頭発表・スペシャルセッション

- 一般口頭発表の講演1件あたりの持ち時間は9分（講演7分・質疑2分）です。
- スペシャルセッションの発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- 講演にはPCプロジェクターとOHPが使用できます。
- 止むを得ない事情で使用機器が講演申込時に予め届け出ていた機器と異なる場合は、セッション開始前までに座長と会場係にその旨を申し出てください。
- PCプロジェクターを使用する際は予め以下の点をご了承ください。
 - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
 - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出てください。
 - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応することが

あります。また、場合によってはOHPによる発表に切り替えさせて頂くこともあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備やOHPシートの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

ポスター発表

- 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦180 cm × 横90 cm程度となっています。
- ポスターの掲示にあたって画鋏・ピン・セロテープが使用できます。これらは発表者自身で準備してください。
- ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守でお願いします。
 - ✓ 第1日の発表者は10月14日12:00～10月15日12:00
 - ✓ 第3日の発表者は10月15日15:00～10月16日16:00
- ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

保育施設の紹介について

今大会では、都合により大会実行委員会による保育施設の斡旋や利用料金の補助は行いませんが、利用者が直接施設に連絡を取って頂くことを前提に保育施設の紹介を行います。ご希望の方は、下記の担当者までご連絡下さい。

連絡先：石渡正樹（北海道大学大学院地球環境科学研究科）

TEL：011-706-235, FAX：011-706-486, E-mail：momoko@ees.hokudai.ac.jp

シンポジウム「雪氷圏から語る気象と気候」

日時：大会第1日（10月14日） 14:00～16:30

会場：北海道大学 学術交流会館 講堂（大会A会場）

司会：藤吉康志（北海道大学低温科学研究所）

※シンポジウムの聴講は無料です

趣旨：

氷河の縮退や氷面積の減少など、地球温暖化によって雪氷圏は大きく変動しつつある。雪氷圏の変動はアイス・アルベードフィードバックを通じて、温暖化を加速する可能性が指摘されている。アルベード変化には、氷面積の減少以外にも、雪氷表面の汚れや雪粒の大きさの変化も関与している。雪氷圏の変動は、気候への影響以外にも、水資源、凍土の融解にともなうメタンの放出など、その変動に付随する様々な影響を地球環境に及ぼす可能性がある。このような背景から、2000年からWCRPのコアプロジェクトの一つとして雪氷圏と気候に関する研究計画(CliC: The Climate and Cryosphere)が始まっている。そこで、本シンポジウムでは「雪氷圏から語る気象と気候」をテーマとして、ミクロな放射過程・北海道の農業・環オホーツク・ユーラシア・地球温暖化と様々な切り口で雪氷圏と気候の問題を語りたい。

基調講演

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1) 「大気エアロゾルの沈着が積雪アルベドに与える影響」 | 青木輝夫（気象研究所） |
| 2) 「北海道・道東地方の土壌凍結深の減少傾向および農業への影響」 | 廣田知良（北海道農業研究センター） |
| 3) 「北ユーラシアにおける雪氷圏変動と気候」 | 大畑哲夫（地球環境観測研究センター） |
| 4) 「環オホーツク圏領域気候モデル」 | 三寺史夫（北海道大学低温科学研究所） |
| 5) 「温暖化シミュレーションに見る雪氷と気候」 | 保坂征宏（気象研究所） |

総合討論

スペシャルセッションの概要紹介

産業と気象 ～気象情報・技術の産業への寄与を考える～

日時：大会第2日（10月15日）13:00～15:30

場所：A会場

趣旨：気象（気候）が産業に及ぼす影響は大きく、気象（気候）の調査・研究成果は、従来から、多くの産業に活用されてきた。しかし、近年、異常な気象（気候）状態が頻発するようになり、地球温暖化問題、環境問題などとも相俟って、社会の対応は複雑化してきている。その一方で、気象（気候）の観測・予測・情報通信技術が大きく進展するとともに新たな知見も得られ、そうした事態への対応策を幅広く提案できる技術基盤も整ってきている。こうした背景の下、このセッションでは、次のような観点での発表を募り、産業振興の資を得るとともに実学としての気象研究の課題を渉猟する場としたい。

- ① 気象（気候）が産業に深刻な影響を与えた事例の気象学的分析など
- ② 産業現場の気象（気候）ニーズ（気象（気候）の影響と深刻度、気象情報・技術の利用目的など）
- ③ 気象（気候）の情報・技術等の、利用成功・失敗事例など
- ④ 提供可能な気象（気候）情報・技術（有効な従来情報・技術、最近提供可能となった情報・技術、近い将来提供可能となる情報・技術）

講演内容は、上記①～④のほか、他の複合した内容や研究の中間報告でもよいので、多数の発表をお願いしたい。

世話人：若原勝二（札幌総合情報センター）、竹田康生（札幌管区気象台）、波松章勝（日本気象予報士会（北海道））、岩田 修、白石晶二（日本気象予報士会）

静止衛星観測Ⅰ：気象衛星ひまわりの30年

日時：大会第3日（10月16日）9:15～11:30

場所：A会場

趣旨：静止気象衛星「ひまわり」が打ち上げられたのが1977年7月。それから今年で30年になる。そこで、静止気象衛星が気象学に果たしてきた貢献を振り返り、静止気象衛星がどのようなインパクトをわたしたちの学界や社会に与えてきたのか等、衛星気象学について考えるセッションとしたい。

- ・ 静止気象衛星の現状と課題
- ・ 静止気象衛星のサイエンスへの貢献
- ・ 静止気象衛星の社会への貢献

世話人：井上豊志郎（東京大学気候システム研究センター）、川村 宏（東北大学大気海洋変動観測研究センター）、
隈部良司（気象庁気候情報課）、中澤哲夫、別所康太郎（気象研究所）

静止衛星観測Ⅱ：静止衛星リモートセンシング観測の新展開

日時：大会第3日（10月16日）13:30～17:00

場所：A会場

趣旨：近年の世界的な流れとして、大気科学や気候変動研究において、高時間分解能で1日24時間の連続測定が可能な静止衛星観測の重要性が改めて注目されている。現在は「気象衛星ひまわり」のように、主として可視・赤外の限られた波長域を用いた観測が行われているが、近年の急速な技術の進歩により、マイクロ波から赤外域まで連続した熱放射分光スペクトル静止衛星観測が可能となり、欧米では実用に向けた検討を開始している。これら新しい技術により、どのような新しい現象が解明されるのであろうか。それを明らかにするためには観測データを研究に活用する立場の人たちと、衛星開発を行う人たちが十分に議論を行う事が必要である。本セッションでは、熱放射静止衛星リモセン観測フィジビリティ研究によるターゲット物理量（雨/雲/水蒸気、温度、風速、エアロゾル、大気汚染物質、温暖化物質）の観測推定精度に関する議論を基に、地球大気科学、気候変動、環境監視などの衛星観測データを研究に活用する立場の研究者から静止衛星観測への期待・科学的要求を議論する事を目的とする。また、現在運用中の静止衛星・周回衛星と組み合わせた観測や解析の議論も歓迎する。

世話人：笠井康子（情報通信研究機構）、早坂忠裕（総合地球環境学研究所）、秋元肇（地球環境フロンティア研究センター）、高橋暢宏（情報通信研究機構）

さまざまな対流

日時：大会第3日（10月16日）9:15～11:30

場所：B会場

趣旨：地球を含む惑星の大気において、対流はそれ自体として興味ある現象であるとともに、エネルギーや物質などの鉛直輸送を介して大循環や気候に至る大規模な大気構造を拘束する重要な運動構造の一つである。しかし地球以外の惑星大気における対流に関しては観測的情報が不足しており、しかも凝結成分の数や絶対量、放射や地表面過程との相互作用などにおいて、地球大気における熱対流や雲対流と大きく異なると思われる側面も多々あり、十分には理解されていないのが現状である。そこで本セッションでは、地球を含めた惑星大気の“さまざまな対流”に関連した幅広いテーマについて、研究の現状を議論し今後の方向を展望したい。

世話人：小高正嗣（北海道大学大学院理学院）、中島健介（九州大学大学院理学研究院）、高木征弘（東京大学大学院理学系研究科）

熱帯低気圧の力学研究・モデリング・予報の未来：大山先生・栗原先生の業績を記念して

日時：大会第3日（10月16日）13:30～17:00

場所：B会場

趣旨：2006年12月に大山勝通先生が逝去され、また、2007年3月には栗原宜夫先生が逝去された。お二人とも気象庁に在職後は、米国の大学や研究機関で熱帯低気圧の理論的・数値的研究に携われ、それぞれ不朽の業績を確立された熱帯低気圧研究の先達である。日本および世界の熱帯低気圧に関する研究にとって、お二人を失った痛手はあまりに大きい。本大会では、熱帯低気圧研究にそれぞれ一里塚を築かれた両先生を記念するセッションを開催する。このセッションでは、お二人の業績を振り返り、それを踏まえて、熱帯低気圧および台風研究の未来を展望することとする。発表のテーマとしては、お二人が取り組まれた熱帯低気圧の発生・発達に関わる諸概念の研究、積雲パラメタリゼーションをはじめとするモデリング、先進的かつ実用的な予報手法の開発など、熱帯低気圧の力学・モデル・予報に関する研究を中心とする。一方、それらと不可分の関係にある熱帯低気圧の観測的・解析的研究からの知見も期待する。また、雲解像モデルや全球モデルによる熱帯低気圧研究なども取り上げる。お二人が残された研究成果に鑑み、特に将来の台風予報・台風観測に資するようなものを期待する。多数の方の発表と聴講をお願いしたい。

世話人：山岬正紀（地球環境フロンティア研究センター）、吉岡真由美（東京大学海洋研究所）、上野 充（気象研究所）、筒井純一（電力中央研究所）、坪木和久（名古屋大学地球水循環研究センター）、別所康太郎（気象研究所）

研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

第29回メソ気象研究会

日時：2007年10月13日（土）（大会前日）13:30～18:00

場所：北海道大学 学術交流会館 講堂（大会A会場）

テーマ：「竜巻—その実態の理解はどこまで進んだのか」

コンピーナー：坪木和久（名大地球水循環）

内容：昨年、延岡、佐呂間とたてつづけて起こった竜巻で、竜巻に対する関心が高まり、その予測への社会の要請は非常に強いものとなった。それに対応して気象庁ではまへだおしてドップラーレーダーが多数導入されることになり、また科学振興調整費「竜巻等の実態および発生予測と対策」

(研究代表者: 田村幸雄東京工芸大学教授) が開始された。しかしながら、予測実現への期待があまりに性急であり、わが国における竜巻の実態についてどの程度理解が進んだのかが十分議論されないまま、予測へ向けた動きが始まりつつある。そこで今回、札幌で行われるメソ気象研究会では、昨年、甚大な被害をもたらした佐呂間と延岡で発生した竜巻に重点を置き、わが国の竜巻についてこれまで得られた知見をまとめたい。さらに、竜巻の予測と防災のための短期的及び長期的方策はどうあるべきか、それにより予測と減災はどこまで可能であるのかなどについて議論をしたい。

プログラム:

新野宏(東大海洋研): 「竜巻の理解の現状について」
小林文明(防衛大): 「「延岡竜巻」と「佐呂間竜巻」
ー竜巻の多発と多様性ー」
坪木和久(名大地球水循環): 「竜巻とその親雲の理解のための雲解像モデルの利用」
加藤輝之(気象研): 「竜巻をもたらす環境場と佐呂間町の竜巻をもたらした積乱雲のシミュレーション」
益子 渉(気象研): 「2006年台風第13号に伴う竜巻のシミュレーションー環境場・竜巻をもたらしたスーパーセル・竜巻の数値解析ー」
河井宏允(京大防災研): 「風工学から見た竜巻等への防災対策の課題」
鈴木 修(気象研): 「竜巻の予測にむけた取り組みについて」

総合討論

世話人: 坪木和久(名大地球水循環), 加藤輝之(気象研), 小倉義光(東大海洋研)

連絡先: 坪木和久(名大地球水循環)

E-mail: tsuboki@rain.hyarc.nagoya-u.ac.jp

極域・寒冷域研究連絡会

日時: 2007年10月14日(日)(大会第一日) 18:00~2時間程度
場所: 北海道大学 学術交流会館 講堂(大会A会場)

話題: 特別講演「極域海洋学研究で学んだこと」

講演者: 若土正暁(北大低温研)

今回は、日本における極域海洋学を常にリードしてきた北大低温研教授若土正暁氏による特別講演を行います。若土氏は、海水生成時の高塩分水(ブライン)排出機構を調べる実験的研究を皮切りに、南極周辺やオホーツク海での海水域変動や海洋構造の解明に、直接観測・データ解析・数値研究・室内実験などあらゆる手法で取り組み、先駆的な成果を挙げてきました。また最近では、オホーツク海研究のプロジェクトを成功させ、データ空白域であったオホーツク海の大気ー海氷ー海洋システムの実態を明らかにし、この功績によって2005年度堀内賞を受賞しています。当日は、参加者の方々の質疑応答を交えつつ、お話し頂く予定です。

代表: 山崎孝治(北大地球環境)

世話人: 平沢尚彦(極地研), 中村 尚(東大院理), 浮田甚郎(千葉大CEReS), 高田久美子(FRCGC), 阿部彩子(東大気候システム), 佐藤 薫(東大院理), 本田明治(FRCGC), 齋藤冬樹(FRCGC), 猪上 淳(IORGC), 高谷康太郎(FRCGC)

URL: http://polaris.nipr.ac.jp/pras/coolnet/cl_index

連絡先: 高谷康太郎(FRCGC)

TEL: 045-778-5526, FAX: 045-778-5707,

E-mail: takaya@jamstec.go.jp

第3回統合的陸域圏研究連絡会

日時: 2007年10月14日(日)(大会第一日) 18:00~20:00

場所: 北海道大学 学術交流会館 小講堂(大会B会場)

内容: 「統合的陸域圏研究連絡会」においては、陸面を中心とする大気境界層から土壌内に渡る陸域圏を研究の主な対象とし、そこにおける物理的、生物的諸過程の理解に向けた、広い視野に立った研究のための情報交換、陸域圏を対象とした基礎的なメカニズムの理解と、他の圏との広域的・長期的相互作用システムの解明、直接観測、間接観測、およびモデリングの融合、空間的・時間的スケール間ギャップの問題の解決への方向性の探求、正確な現状の認識と、実質的に意味のある手法の開発に向けた努力、およびそれらのための研究協力関係の構築を目的としています。今回は、陸域圏研究におけるリモートセンシングデータの利用をテーマとした研究会の初回として、世話人2名による講演を行います。

講演者および講演題目:

西田顕郎(筑波大) 「陸域生態系研究におけるリモートセンシング」

青木輝夫(気象研) 「GLI及びMODISデータによる積雪粒径と不純物濃度抽出」

世話人: 馬淵和雄(気象研), 大谷義一(森林総研), 青木輝夫(気象研), 西田顕郎(筑波大), 伊藤昭彦(環境研)

代表連絡先: 馬淵和雄(気象研)

TEL: 029-853-8609, FAX: 029-855-2552,

E-mail: kmabuchi@mri-jma.go.jp

北海道気象予報士会創立10周年記念フォーラムー屋気楼から気象を学ぶー

日時: 2007年10月14日(日)(大会第一日) 18:00~20:00

場所: 北海道大学 学術交流会館 第1会議室(大会C会場)

プレゼンター: 木下正博(富山県総合教育センター), 金子 和真(北海道気象予報士会), 大鐘卓哉(小樽市総合博物館)

アドバイザー: 藤吉康志(北大低温研)

内容: 北海道気象予報士会では創立10周年を記念して「屋気楼から気象を学ぶ」というテーマでフォーラムを企画しました。日本屋気楼協議会に所属する木下正博さん、金子和真さん、大鐘卓哉さんにプレゼンターとして北海道や日本各地での屋気楼の観測事例の紹介を行っていただきます。併せて、屋気楼発生のライブ実験を通じて博物館や科学館での気象に関する展示についても紹介いただきます。このとき、一般の講演会と違い、藤吉康志さんにアドバイザーとして、気象学会で議論されている最新の気象学の話題なども随時補足いただくというかたちで進め、屋気楼という地域の気象現象や環境について共に考え、楽しく対話しあえるフォーラムにしたいと思っています。このフォーラムを気象学会秋季大会にあわせて企画したのは、日本全国から気象の研究者が北海道に集まる機会に、研究者だけでなく、気象予報士や気象庁職員、気象友の会の会員など、普段なかなか直接交流することができなかった気象に興味のある人たちが一堂に会し、それぞれの立場で「気象」を学んでいただく場を作りたいと考えたからです。仕事で気象の研究をしている方には、アマチュアのフィールド観測や解析・研究を知ること、自らの研究に何らかの刺激を受けていただき、普段の研究が社会にどのように関わっているか知るきっかけになると思います。気象学は天気予報な

どを通して非常に身近に感じやすい学術分野ですが、一般の市民はもちろん気象予報士から見ても気象学は難しいというイメージがあります。層気候というどのレベルの人もイメージしやすい話題を通して参加者全員が対話し、そのギャップを埋めるとともに、最近の研究に不可欠となりつつあるアウトリーチ活動の参考にもなるようなフォーラムにしたいと考えております。興味をお持ちの幅広い分野の方々の、多数の参加をお待ちしております。

主催：北海道気象予報士会

共催：気象学会北海道支部、札幌管区気象台（予定）、小樽市総合博物館

問合せ先：北海道気象予報士会創立10周年記念フォーラム実行委員会 竹田康生（札幌管区気象台）

E-mail : y_takeda@met.kishou.go.jp

第4回地球観測衛星研究連絡会

日時：2007年10月14日（日）（大会第一日）18:15～20:15

場所：北海道大学 環境科学院 C104講義室（大会D会場）

テーマ：気象研究のための新しい観測の可能性 ー新規周波数開拓ー

内容：今回は、衛星観測の新たな可能性を探ることを目的として、観測周波数（波長）の新たな開拓やこれまで用いられてきた周波数帯での高度な利用の方向性についての話題を提供していただきます。関心をお持ちの方は是非ご参加ください。

話題提供者：

- 1: 赤外観測から（仮題）今須良一（東大気候システム）
- 2: テラヘルツリモートセンシング観測 笠井康子（NICT）
- 3: 可視紫外の方、もしくは他の手法の方
総合討論

世話人：中島孝（東海大）、日暮明子（環境研）、塩谷雅人（京大学生存研）、早坂忠裕（地球研）、高橋暢宏（NICT）

連絡先：高橋暢宏（NICT）

TEL : 042-327-6179, FAX : 042-327-6666,

E-mail : ntaka@nict.go.jp

オゾン研究連絡会

日時：2007年10月14日（日）（大会第一日）18:00～20:00

場所：北海道大学 環境科学院 講堂

内容：今回は「2007年春の光化学スモッグ」というテーマで、以下の講演をお願いしております。今年春に九州をはじめ日本各地で例年より早く光化学オキシダント注意報が発令され、社会的な関心を呼びました。この件に限らず、近年日本における光化学オキシダント濃度には増加傾向が見られており、その原因や今後の推移に関して関心もたれています。今回の連絡会では、日本や東アジアにおける光化学オキシダントの現状、最近の傾向、今春のエピソードに関してお話を頂く予定です。関心をお持ちの方は是非お集まり下さい。

講演者および講演題目：

- 1) 秋元 肇（FRGC）「対流圏オゾンの半球汚染とアジア汚染」
- 2) 大原 利真（環境研）「光化学オゾンの最近の特徴 - 今春の高濃度エピソードを中心として -」

世話人：笠井康子（NICT）、川上修司、河本 望（JAXA）、永島達也（環境研）、庭野将徳（FRGC）、村田 功（東北大院環境科学）

連絡先：村田 功（東北大院環境科学）

TEL : 022-795-5776, FAX : 022-795-5775,

E-mail : murata@pat.geophys.tohoku.ac.jp

講演企画委員会からのお知らせ

非会員による大会での講演について

最近、非会員のままで継続して大会での講演を行うケースが少なからず見受けられます。特に教官との共著で講演を行う学生や院生の方が多いようですが、一般の方もおられるようです。大会での講演は気象学会会員としての貴重な権利であり、「共著者に会員がいる場合は非会員の大会での講演を認める」という規定は、あくまでも短期滞在の外国人や他分野の研究者が気象学会において一時的に講演を行う場合の特例です。これまでもお願いしてきましたが、気象学会において継続的に講演を行いたい場合には会員になって頂くように強く望みます。

予稿の再掲について

2007年度春季大会講演予稿集において印刷に不具合のあった以下の2件の予稿を、本大会講演予稿集の本文冒頭に再掲させて頂きました。

P404 岩崎一晴（都立大理）・泉岳樹（首都大都市環境）他1名 メソスケール気象モデルを用いた羅白だしの再現実験

P405 稲村友彦（都立大理）・松山洋（首都大都市環境）他6名 まつぼり風の数值シミュレーション～現実の地形と仮想的な地形を用いて～

2008年度春季大会の予告

2008年度春季大会は、2008年5月18日（日）～21日（水）に横浜市開港記念会館・横浜情報文化センター（横浜市中区）で開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは2008年2月頃となる予定です。

大会第1日〔10月14日（日）〕 9:30～12:30 口頭発表

A 会場

気候システム I

座長：尾瀬 智昭（気象研）

- A101 力石 國男（弘前大理工）北日本に豪雪・寡雪をもたらす北半球の大気循環
- A102 本田 明治（FRCGC）夏季から秋季の北極域海氷面積変動が冬季極東域の天候に及ぼす影響
- A103 伊藤 久徳（九大院理）冬季北半球の独立成分：北極振動は独立成分か？
- A104 田中 博（筑波大計算科学）ポーラージェットの傾圧不安定波と亜熱帯ジェットの傾圧不安定波
- A105 麻生 祥仁（九大院理）中立特異モードによるNAO/PNAと成層圏卓越変動の励起メカニズム
- A106 山下 陽介（東大気候システム）成層圏の環状モードに関連した対流圏の波の強制力の太陽活動に伴う変動
- A107 黒田 友二（気象研）南半球冬季における太陽活動の上下結合に及ぼす影響
- A108 小坂 洋介（東大院理）PJパターンの力学モード性
- A109 井上 誠（東大気候システム）夏季アジアモンスーンに伴う対流圏—成層圏循環の変動（3）
- A110 Htway, Ohnmar（東大）Interannual variations of summer monsoon onset over Myanmar
- A111 陳 桂興（東北大院理）Seasonal Variations of Diurnal Rainfall in Southern China and its Surrounding
- A112 横井 寛（東大院理）インドシナ半島東岸での豪雨時における総観規模的特徴
- A113 伍 培明（IORGC）赤道越え冬季アジアモンスーンによるジャカルタ豪雨
- A114 鳥居 司（愛知教育大院）冬季における亜熱帯高圧帯領域と西太平洋SSTとの関係
- A115 荒井 美紀（東大気候システム）アジアモンスーン域夏季降水に対するエアロゾルの影響
- A116 植田 宏昭（IPRC/University of Hawaii）モンスーンの形成における陸面と海洋の寄与の定量化
- A117 尾瀬 智昭（気象研）夏季東アジアにおけるエルニーニョの影響の結合モデルによる再現性
- A118 荒川 理（気象研）気候モデルで再現されたアジアモンスーン地域における降水量と地形との関係
- A119 二宮 洗三（FRCGC）大気大循環モデルで再現された南太平洋収束帯（SPCZ）[OHP使用予定]

大会第1日〔10月14日(日)〕 9:30~12:30 口頭発表

B 会場

熱帯大気

座長：山田 広幸 (IORGC)

- B101 寺尾 徹 (香川大教育) インド亜大陸東北部における観測的研究プロジェクトの進展
- B102 木口 雅司 (東大生産研) インド亜大陸東北部におけるプレモンスーン期の降水現象
- B103 山根 悠介 (京大次世代ユニット) バングラデシュにおけるシビアローカルストーム発生日の大気環境について
- B104 Islam, Md. Nzurul (名大地球水循環) An analysis to classify pre-monsoon and monsoon rainfall in and around Bangladesh using TRMM 2A25 data
- B105 江口 菜穂 (環境研) 2007年夏季バングラディッシュ上空における水蒸気変動について
- B106 村田 文絵 (高知大理) ダッカにおけるモンスーン低気圧に関する観測・解析
- B107 Rafi, Uddin Md. (名大地球水循環) Characteristics of monsoon precipitation systems in Bangladesh during 2000-2005
- B108 田畑 悦和 (京大生存研) ウィンドプロファイラー観測に基づくインドネシア海洋大陸域における超雲団変調の様相
- B109 森 修一 (IORGC) スマトラ島沿岸域における対流系の日周期移動および海上における再発達について -HARIMAU2006観測結果-
- B110 櫻井 南海子 (IORGC) インドネシア・スマトラ島におけるHARIMAU2007集中観測結果
- B111 山本 真之 (京大生存研) インドネシア・スマトラ島における下部対流圏の風速変動 -赤道大気レーダーとNCEP/NCAR再解析データの比較-

座長：寺尾 徹 (香川大教育)

- B112 牛山 朋来 (IORGC) パラオ周辺で観測された積雲対流の日周期から2日周期への変遷
- B113 宮川 知己 (東大気候システム) MISMOのドップラーレーダーによって観測されたスコールラインの特徴
- B114 山田 広幸 (IORGC) 熱帯インド洋の対流活性期に東へ伝播する降水システムの観測
- B115 増永 浩彦 (名大地球水循環) 大規模赤道波に伴う対流システム発達過程の観測的研究
- B116 安永 教明 (IORGC) 全球雲解像モデルNICAMによる水惑星実験で再現された降水の半日周期
- B117 那須野 智江 (FRCGC) 全球非静力学モデルを用いたMadden-Julian Oscillation再現実験
- B118 谷口 博 (京大防災研) 熱帯域季節内振動の活動度と予測可能性との関係
- B119 佐藤 尚毅 (IORGC) IPCC AR4気候モデルにおける、MJOに伴う下層の力学、熱力学場の再現性

大会第1日〔10月14日（日）〕 9:30～12:30 口頭発表

C 会場

降水システム I

座長：折笠 成宏（気象研）

- C101 越田 智喜（いであ）人工降雨による渇水被害軽減の可能性の調査
- C102 橋本 明弘（気象研）人工降雪のためのシーディング有効雲に関する雲解像モデル結果を用いた統計解析
- C103 山下 克也（気象研）詳細雲微物理モデルとMRI雲生成チェンバー実験による雲粒生成過程の比較
- C104 田尻 拓也（気象研）MRI雲生成チェンバーによる雲物理実験 —混合雲における氷晶発生過程について—
- C105 折笠 成宏（気象研）航空機による山岳性降雪雲の直接観測 —雲の相からみた統計的特徴—
- C106 村上 正隆（気象研）シーディングに適した雲（有効雲）の定量的評価法 — 2Dモデルの結果を用いて —
- C107 岩波 越（防災科研）Xバンド偏波レーダーによる降水粒子判別（2）—ファジーロジックによる冬季雲内の粒子判別—
- C108 小西 啓之（大阪教育大）光学式センサーを用いた雨滴の粒径と落下速度の観測
- C109 岸 豊久（京大生存研）MUレーダーとレイリー／ラマンライダーによる中緯度域の巻雲観測
- C110 佐藤 可織（東北大院理）船舶搭載能動型測器と衛星観測データによる気象場、放射場と上層雲の巨視的構造・微物理特性の解析
- C111 岡本 創（東北大院理）「みらい」MR06-05航海における船舶搭載雲レーダ・ライダー, CloudSAT・CALIPSO, SPRINTARSによる雲鉛直特性の比較解析
- C112 増子 直樹（東北大院理）アクティブセンサーと雲微物理パーセルモデルを用いた下層雲の再現実験
- C113 青梨 和正（気象研）衛星搭載マイクロ波放射計AMSRE降水強度リトリバーバルアルゴリズムの開発（その6）
- C114 久保田 拓志（JST）衛星搭載マイクロ波放射計の降水リトリバーバルにおける降水非一様性の影響
- C115 可知 美佐子（JAXA/EORC）衛星による高頻度全球降水プロダクトの準リアルタイム配信に向けて
- C116 重 尚一（大阪府大院工）TRMM PR データからの潜熱加熱プロファイルのスペクトル推定：2次元および3次元モデルから作成された参照テーブルの比較

大会第1日〔10月14日(日)〕 9:30~12:30 口頭発表

D 会場

大気境界層

座長：大橋 唯太（岡山理大総合情報）

- D101 酒井 敏（京大院人間環境）境界層研究のための単指向性赤外放射計
- D102 岩井 宏徳（NICT）仙台空港におけるデュアルドップラーライダーによる大気境界層内風観測
- D103 青柳 暁典（気象研）JMANHM用単層都市キャノピースキームの改良と放射収支に関する検討
- D104 清野 直子（気象研）単層都市キャノピースキームを用いたJMANHMによる都市気象シミュレーションの試み
- D105 佐藤 大樹（大成建設）数値解析による海風進入予測とその阻害要因に関する運動エネルギー収支分析（その1）数値予測結果と分析手法の概要
- D106 大岡 龍三（東大生産研）数値解析による海風進入予測とその阻害要因に関する運動エネルギー収支分析（その2）海風の進入経路に沿った流体塊の平均運動エネルギー収支
- D107 Khiem, Mai（東大生産研）Numerical Simulation of Atmospheric Pollution over Kanto area using the MM5/CMAQ Model “Simulation of ozone concentration between two different weather days”
- D108 余 偉明（東北大院理）A Comparison of Numerical Simulation and Wind Tunnel Experiment on Unstable Stratified Flow within and above a Modeled Urban Canopy (2)
- D109 大泉 三津夫（気象研）JMANHMによる関東平野の積雪再現実験 - 解像度の影響と下層大気の後方流跡線の特性 -
- D110 北村 祐二（気象研）LESにおけるパラメタリゼーションスキームの相互比較

座長：清野 直子（気象研）

- D111 吉田 龍平（東北大院理）陸面過程モデル2LMを用いた潜在的応答特性の検証
- D112 重田 祥範（岡山大院自然）季節変化に伴うヒートアイランド強度の時空間的特徴 - 岡山平野の広域的な細密調査 -
- D113 重田 祥範（岡山大院自然）都市域のヒートアイランド現象が植物季節に与える影響 - 岡山平野におけるソメイヨシノの開花を例として -
- D114 大橋 唯太（岡山理大総合情報）様々な日常活動空間における熱中症指標WBGTの観測 - 岡山市街地を対象にして -
- D115 千葉 晃（亜細亜大教養）サマータイムが実施された場合の東京（大手町）における夕方の気温と「明るさ」の評価
- D116 大西 将徳（京大院人間環境）日本列島上空の収束・発散場とその現象論的解釈
- D117 大西 将徳（京大院人間環境）線形理論を用いた日周期収束・発散場の力学の解明
- D118 藤吉 康志（北大低温研）大気構造が夜間の鳥の飛び立ちと飛行高度に及ぼす影響（1）
- D119 木下 正博（富山県総合教育センター）富山湾における曇気楼の発生理由 IX ～ 入善町・朝日町・新潟県親不知沖の海上に存在する上暖下冷の空気層 ～

大会第2日〔10月15日（月）〕 9:15～12:00 口頭発表

A 会場

気候システムⅡ

座長：鬼頭 昭雄（気象研）

- A201 吉森 正和（東大気候システム）氷期と現在気候での淡水流入に対する熱輸送応答の比較
- A202 村上 茂教（FRCGC）ハドレー循環の強度とエネルギー輸送 —氷期気候系を例として—
- A203 大垣内 るみ（FRCGC）完新世中期シミュレーションにおけるアジアモンスーン強化と現在気候シミュレーションの海面水温バイアスの相関
- A204 新村 周平（名大院環境）降水観測データによる気候モデル降水量の再現性
- A205 楠 昌司（気象研）大気海洋結合モデルによる梅雨期の降水強度の再現性
- A206 野沢 徹（環境研）人為起源の温室効果ガス増加による20世紀の昇温量推定に及ぼす炭素性エアロゾル増加の影響
- A207 対馬 洋子（FRCGC）IPCC-AR420世紀再現実験における各国モデルの太陽入射光のばらつきについて
- A208 阿部 学（環境研）パーフェクトモデルテストによる気候変化予測と現在気候再現性の関係の評価
- A209 塩竈 秀夫（環境研）地球温暖化による降水量変化予測の排出シナリオ依存性
- A210 江守 正多（環境研/FRCGC/東大気候システム）2030年までの確率的気候変化予測に向けて 第2報—降水量変化
- A211 上口 賢治（気象研）高解像度全球モデルを用いた、地球温暖化に伴う河川流量の将来変化
- A212 岩崎 俊樹（東北大院理）地球温暖化が大規模大気波動形成に与える影響
- A213 長谷川 聡（環境研）水惑星実験におけるSSTとCO₂濃度の変化による降水の力学・熱力学的変化
- A214 千喜良 稔（FRCGC）MIROC3.2への改良型Mellor-Yamadaスキームの導入
- A215 渡部 雅浩（北大院地球環境）CCSR/NIES/FRCGC AGCMにおけるPDF予報型雲スキームの開発
- A216 馬場 賢治（札幌光星高）高校生の地球温暖化に関する意識について
- A217 槌田 敦（所属なし）CO₂温暖化説は間違っている [OHP使用予定]

大会第2日〔10月15日（月）〕 9:15～12:00 口頭発表

B 会場

気象予報

座長：宮本 健吾（AESTO/気象庁数値予報）

- B201 彭 新東（地球シミュレータ）全球非静力モデルMSSGとマルチスケールシミュレーション
- B202 山崎 弘恵（京大院理）Shaved Cell法によるz座標系高解像度非静力学モデルの開発
- B203 荒波 恒平（気象庁数値予報）高分解能局地モデルの開発
- B204 原 旅人（気象庁数値予報）気象庁非静力学モデルにおける改良 Mellor-Yamada Level 3スキームの特性
- B205 齊藤 和雄（気象研）WWRP北京2008予報実証/研究開発プロジェクト（その2 2007年予備実験概要）
- B206 原 昌弘（気象研）平成19年7月九州豪雨のメソアンサンブル予報実験（全球湿潤ターゲットSVを用いたNHMによるダウンスケール予報実験 その2）
- B207 野村 俊夫（岐阜大院工）降水量予測精度の向上のためのメソ気象モデル入力初期値に関する検討
- B208 中村 誠臣（気象研）解像度を変えた非静力学モデルによる夏季関東域での再現実験
- B209 及川 博史（JAXA）十勝平野における下層不安定域の検証
- B210 稲葉 守生（気象研）全球大気モデルを用いた2005年12月予報場の大気初期値に伴う変動
- B211 宮本 健吾（AESTO/気象庁数値予報）JMA-GSMの湿潤過程の特性に関する調査
- B212 小森 拓也（気象庁数値予報）20km全球モデルの湿潤過程開発と台風予報
- B213 小森 拓也（気象庁数値予報）アンサンブル台風進路予報に対するクラスター解析手法の開発 ～ 週間アンサンブル予報の利用例 ～
- B214 近藤 圭一（筑波大院生命環境）順圧大気大循環モデルを用いたEKFとEnKFの比較実験
- B215 三好 建正（気象庁数値予報）LETKFにおける衛星放射輝度観測データの最適バイアス補正法
- B216 瀬古 弘（気象研）COSMIC衛星の掩蔽データを用いた同化実験

大会第2日〔10月15日(月)〕 9:15~12:00 口頭発表

C 会場

降水システムⅡ

座長：安永 数明 (IORGC)

- C201 大竹 秀明 (北大院地球環境) 日本海北部に発生する太い筋雲の維持過程
- C202 大東 忠保 (名大地球水循環) 上層寒気核の通過に伴い変動する日本海寒帯気団収束帯の力学過程
- C203 東 邦昭 (神戸大院自然) 近畿地方における線状降水帯の組織化 - 徳島小低気圧の存在 -
- C204 用貝 敏郎 (気象庁予報) 2006年7月18日から24日にかけて九州中・南部で発生した記録的豪雨 その2 - 鹿児島/市来のウィンドプロファイラ (WPR) で観測された梅雨ジェット (BJ) と豪雨との関係 -
- C205 川島 正行 (北大低温研) 寒冷前線降雨帯のコア-ギャップ構造の成因に関する数値実験 (2)
- C206 羽賀 泰之 (岡山大教育) 梅雨期の九州における降水の日変化とその時の総観規模でみた基本場について
- C207 加藤 内藏進 (岡山大教育) 地上梅雨前線の暖域に見られる九州での降水 (1997~2005年の解析)
- C208 渡邊 明 (福島大理工) 梅雨前線に伴うバンド状降水システムの構造
- C209 竹見 哲也 (京大防災研) 北陸地方における梅雨期の集中豪雨と環境の安定度
- C210 尾上 万里子 (名大地球水循環) 梅雨前線帯における対流セルの偏波パラメータと地上雨滴粒径分布の特徴
- C211 加藤 輝之 (気象研) 2007年5-7月の九州・四国地方における浮力がなくなる高度と雲解像モデルが予想した雲頂高度との関係
- C212 安永 数明 (IORGC) 融解過程による積雲対流の成長抑制
- C213 井口 享道 (東大気候システム) 数値実験から予想される雲凝結核数に対する雲降水システムを介しての雲頂高度・降水量の感度
- C214 今井 真希 (防衛大地球海洋) 2004年夏季晴天時南関東におけるファーストエコーの出現特性
- C215 林 修吾 (気象研) 梅雨期の落雷観測と1km-NHMが再現した雲の統計的特徴との比較 (2007梅雨)
- C216 吉田 暁洋 (東北大院理) ISUAL及びELFネットワーク観測に基づく落雷及びスプライト発生率の地域季節変動

大会第2日〔10月15日(月)〕 9:15~12:00 口頭発表

D 会場

エアロゾル

座長：渡辺 幸一（富山県立大短大部）

- D201 河本 和明（長崎大環境科学）1990年前後の東欧の排出量変動と雲・エアロゾル場への影響
- D202 三井 達也（東大気候システム）エアロゾル輸送過程を取り入れた全球雲解像モデルを用いた熱帯大西洋上での雲放射強制力の見積り
- D203 五藤 大輔（東大気候システム）GCMを用いたエアロゾルの吸湿性に関する感度実験
- D204 竹村 俊彦（九大応力研）全球エアロゾル予報システムの開発
- D205 青木 一真（富山大院理工）1997年~2007年の札幌上空のエアロゾルの光学的特性
- D206 Khatri, Pradeep（愛知学院大）Retrievals of density and refractive index of dry aerosols from aerosol optical parameters measured in an urban atmosphere of Nagoya
- D207 白岩 学（東大先端研）アジア大陸起源空気塊中の単一ブラックカーボン粒子の混合状態の測定
- D208 兼保 直樹（産総研）アジア太平洋岸における硫酸塩エアロゾルの粒径分布
- D209 三上 正男（気象研）オーストラリア休耕地で観測された非一様飛砂飛散過程と臨界摩擦速度
- D210 渡辺 雅倫（東大先端研）中国広州におけるエアロゾル化学組成の高時間分解能測定：PAHと鉛のm/z信号を用いた発生源解析
- D211 酒井 哲（気象研）気球を用いた黄砂エアロゾルと上層雲の観測 —エアロゾルゾンデデータから得られた特徴—
- D212 渡辺 幸一（富山県立大短大部）立山・室堂平における霧水中の化学成分—越境汚染物質とバックグラウン黄砂の影響—
- D213 山本 直子（鳥取大院農）総観場から見た黄砂観測の特徴と経年変化の周期的変動に関する研究
- D214 安成 哲平（北大院地球環境）黄砂と成層圏—対流圏輸送の同時発生、及びその空気塊のアラスカ・ランゲル山への輸送：2001年4月の事例解析
- D215 張 代州（熊本県立大環境共生）鉍物粒子の水蒸気吸収特徴のESEMによる研究
- D216 直江 寛明（気象研）海塩エアロゾルが液相化学反応によって変質するメカニズム
- D217 鶴田 治雄（東大気候システム）奄美大島における春期の大气エアロゾルの単一散乱アルベドとその制御要因

大会第2日〔10月15日（月）〕 13:00～15:30 口頭発表**A 会場****スペシャルセッション「産業と気象 ～気象情報・技術の産業への寄与を考える～」**

座長：酒井 重典（気象予報士会）

- A251 村山 貢司（気象業務支援センター）経済と気象情報の利用
- A252 富山 芳幸（気象予報士会）電力需要予測に気温の確率予報を導入した場合のインパクト
- A253 知野 義美（JR北海道）ARISS総合防災システムについて
- A254 金子 和真（気象予報士）2002～2006年に発生した苫小牧沖上位層気楼に関する考察
- A255 木戸 和男（北海道立地質研究所）サロマ湖におけるシケの効用 ―再懸濁による堆積物表層の上方輸送―
- A256 油津 雄夫（エコニクス）北海道森林・林業の気象被害
- A257 植野 玲一郎（道立上川農試/気象予報士会）北海道の野菜栽培における5，6月の晩霜被害
- A258 鮫島 良次（北海道農研）農作物の気象災害リスク情報
- A259 菅野 洋光（東北農研センター）気象予測データを用いた「いもち病発生予察プログラム-BLASTAM」の作成
- A260 濱寄 孝弘（北海道農研）冬期の低温を利用した寒締めホウレンソウ栽培
- A261 萱場 互起（札幌管区気象台）冷夏をもたらすオホーツク海高気圧と気象台が発表する情報について

大会第2日〔10月15日（月）〕 13:00～15:30 口頭発表

B 会場

大気力学

座長：杉本 憲彦（名大院工）

- B251 山本 勝（九大応力研）金星型AGCMを用いた超回転の惑星軌道要素依存性の研究
- B252 福田 純也（九大院理）地球大気における自由振動の最適励起
- B253 寺崎 康児（筑波大院生命環境）鉛直波数領域における大気大循環のエネルギー収支解析
- B254 小玉 知央（東北大院理）水惑星条件における傾圧不安定波動に対するSST上昇の影響
- B255 吉崎 正憲（IORGC）スーパークラウドクラスターの東進のメカニズムについて（3）
- B256 伊賀 啓太（東大海洋研）弱いニュートン冷却を考慮した中間規模東進波
- B257 末吉 雅和（神戸大院理）一般化された2次元流体系における平行流の安定性
- B258 佐々木 俊輔（京大院理）回転球面上の減衰性2次元乱流から生じる西向き周極流の形成機構に関する考察
- B259 谷口 博（京大防災研）赤道 β 平面浅水系の線形シア一流中で発生する「交差モード」の解釈
- B260 村上 振一郎（京大院理）f平面浅水系における孤立渦の線形安定性解析
- B261 柳野 健（気象研）最適アフィン変換されたローレンツ方程式による不動点近傍のカオス挙動について
- B262 松島 和宏（東海大地球環境）半球規模回転水槽実験に表れる惑星規模波動の特性
- B263 板野 稔久（防衛大地球海洋）特殊回転風洞におけるPIVを用いた竜巻状渦の流速解析

大会第2日〔10月15日（月）〕 13:00～15:30 口頭発表

C 会場

降水システムⅢ

座長：坪木 和久（名大地球水循環）

- C251 坪木 和久（名大地球水循環）冬季の寒冷前線に伴って発生した突風の雲解像モデルを用いたシミュレーション実験
- C252 吉田 聡（地球シミュレータ）佐呂間竜巻を伴った爆弾低気圧の予測可能性（その2）凝結スキームに対する感度実験
- C253 佐々 浩司（高知大理）佐呂間竜巻の地形効果に関する模擬実験
- C254 菅原 祐也（防衛大地球海洋）2007年5月31日富津市沖で発生した竜巻のドップラーレーダ観測
- C255 佐藤 晋介（NICT）偏波ドップラーレーダーで観測された複数のメソサイクロン
- C256 中里 真久（気象研）竜巻風速パラメータースーパーセル型竜巻の発生の可能性と接線風速の推定
- C257 楠 研一（気象研）小型ドップラー気象レーダーによる鉄道安全運行のための突風探知システムの基礎的研究－研究の概要－
- C258 楠 研一（気象研）メソ渦の存在を示唆するインナーコア周辺の地上風と気圧変動 II -眼の回転パターンとの関係-
- C259 宮本 佳明（京大防災研）発達した台風の構造に対する海面抵抗の影響
- C260 梅本 泰子（京大生存研）MUレーダーとWINDASを用いた台風0704号中心付近での風速変動
- C261 出世 ゆかり（NICT）COBRA観測による台風0704号の眼の壁雲の構造
- C262 西垣 語人（気象庁予報）気象衛星画像情報を使った台風の動態解析手法の開発
- C263 栗田 直幸（IORGC）水の大循環モデルを用いた大陸水循環研究
- C264 栗田 直幸（IORGC）熱帯インド洋上で対流活発期にみられた降水の再循環

大会第2日〔10月15日(月)〕 13:00~15:30 口頭発表

D 会場

微量気体

座長：北 和之（茨城大理）

- D251 北 和之（茨城大理）高出力UV-LEDを用いたNO₂光解離コンバーターの開発とフィールド試験
- D252 永島 達也（環境研）タグ付き輸送モデルを用いた日本における地表オゾンの発生源別寄与率推
- D253 川岸 諒子（奈良女子大理）オゾンゾンデ観測から得られた対流圏オゾンの解析 — 空気塊分類に基づく解析結果 —
- D254 秋吉 英治（環境研）下部成層圏の等価有効塩素濃度とオゾン全量の回復時期
- D255 須藤 健悟（名大院環境）全球オゾン分布変動の気候影響：化学気候モデルによる気候応答実験
- D256 杉田 考史（環境研）ILAS-IIによって観測された南極成層圏のPSCによる一時的な脱室
- D257 石戸谷 重之（東北大院理）北極域航空機観測計画（Arctic Airborne Measurement Program 2002, AAMP02）において観測された極渦内下部成層圏における大気主要成分の重力分離
- D258 八代 尚（東北大院理）日本上空における対流圏CO濃度の時空間変動
- D259 桜井 秀宣（三重大院生物資源）海洋における一酸化炭素とメタンの動態について
- D260 中野 智子（首都大都市環境）半乾燥草原における光合成速度とその制御要因
- D261 高村 近子（東北大院理）冷温帯落葉広葉樹林における大気中CO₂のδ¹⁸Oの日変動
- D262 井口 敬雄（京大防災研）陸上生態系モデルを用いたシミュレーションによるCO₂フラックスとENSOの相関関係
- D263 小田 知宏（阪大院工）遺伝アルゴリズムを用いた地域スケールにおけるCO₂ソース・シンク逆解析法の開発
- D264 美山 透（FRCGC）二酸化炭素濃度安定化への排出量準逆計算
- D265 Baron, Philippe（NICT）Study of the mid-troposphere to lower stratosphere humidity and trace gases remote sensing using satellite THz receiver

大会第3日〔10月16日（火）〕 9:15～11:30 口頭発表

A 会場

スペシャルセッション「静止衛星観測 I : 気象衛星ひまわりの30年」

座長 : 中澤 哲夫 (気象研)

- A301 高橋 清利 (気象研) GMS IR データによる西太平洋熱帯域における雲量トレンド
- A302 井上 豊志郎 (東大気候システム) 静止衛星による熱帯での深い対流雲の観測例
- A303 中澤 哲夫 (気象研) 東進するスーパークラスターの構造
- A304 別所 康太郎 (気象研) T-PARCにおけるMTSAT-2 Rapid Scanによる衛星風観測実験
- A305 三浦 恒人 (函館海洋気象台) 衛星データを用いた海洋・海上気象プロダクトの開発と利用
- A306 川村 宏 (東北大院理) Hot Event- An Organized Phenomenon with Very High Sea Surface Temperature in the Indo-Pacific Warm Pool
- A307 奥 勇一郎 (京大防災研) ひまわりによる地表面熱収支解析
- A308 奥山 新 (気象衛星センター) GMS-5/VISSRデータ再解析 ～再校正技術の開発～
- A309 福田 悟 (東大気候システム) GMS-5/VISSRデータ再解析～エアロゾル光学特性の推定～
- A310 竹中 栄晶 (千葉大CEReS) GMS-5/VISSRデータ再解析 ～放射収支の推定～
- A311 岡本 幸三 (気象庁数値予報) 静止気象衛星データの同化

大会第3日〔10月16日（火）〕 9:15～11:30 口頭発表

B 会場

スペシャルセッション「さまざまな対流」

座長：杉山 耕一朗（北大院理）

- B301 高木 征弘（東大院理）金星下層大気に鉛直対流は存在するか？
- B302 小高 正嗣（北大理）3次元非静力学モデルによる火星大気対流の数値計算
- B303 高橋 芳幸（神戸大院理）火星大気子午面循環の季節変化
- B304 杉山 耕一朗（北大院理）2次元対流モデルで明らかにされた木星大気の雲対流構造
- B305 森川 靖大（北大院理）可変性と可読性を考慮した大気大循環モデルの開発と湿潤惑星の数値実験
- B306 石渡 正樹（北大院地球環境）同期回転惑星の大気大循環の数値計算
- B307 田島 成将（九大院理）積雲による音波発生の数値モデリング
- B308 杉山 昌広（MIT）弱温度傾度である水蒸気モード存在の一般条件
- B309 竹見 哲也（京大防災研）乾燥地における乾燥・湿潤対流とダスト輸送
- B310 柳澤 孝寿（海洋研究開発機構 IFREE）液体金属による熱対流の乱流状態：外核の流れを理解するために

※B309 および B310 は招待講演(質疑込み18分), その他は一般講演(質疑込み12分)

大会第3日〔10月16日（火）〕 9:15～11:30 口頭発表

C 会場

相互作用

座長：見延 庄士郎（北大院理）

- C301 岡島 秀樹（FRCGC）アジアモンスーンと山岳効果---大気海洋相互作用を考慮して---
- C302 高玉 孝平（北大院理）北太平洋高解像度領域大気モデルを用いた大気の経年変動に対するSSTフロントの寄与の解明I -実験設定と高解像度SSTへの応答-
- C303 田口 文明（地球シミュレータ）黒潮続流域の海面水温前線に対する大気境界層の応答:領域大気モデル実験
- C304 中田 隆（東大海洋研）熱帯西部太平洋域の降水雲ともなうて増加する海面熱フラックスの研究
- C305 山内 明子（伊豆海洋科学研）分散分析による層別海水温の変動解析 一年最低水温の近傍を用いた温暖化評価法-
- C306 猪上 淳（IORGC）エアロゾンデを利用した夏季北極海の大気・海氷観測
- C307 猪上 淳（IORGC）2007年夏季北極海カナダ海盆における海氷後退の特徴
- C308 中野渡 拓也（北大低温研）オホーツク海の最大海氷面積を決定する要因
- C309 橋本 孝治（アルファ水工コンサルタンツ）2006年10月の温帯低気圧によるエクマン輸送に起因した特異な高潮事例
- C310 平沢 尚彦（極地研）昭和基地近傍の南極氷床上地点における地上気象に見られる日変化
- C311 川瀬 宏明（FRCGC）黄河の大規模灌漑が夏季の積雲の発生に及ぼす影響
- C312 片岡 文恵（RESTEC）2004年台風23号の広戸風による岡山県北の倒木被害について - 衛星データを用いた倒木被害分布と気象モデルの照合解析 -
- C313 大塚 清敏（大林組技術研究所）2004年台風23号の広戸風による岡山県北の倒木被害について - 計算流体モデルによる風速分布と倒木分布の比較 -

大会第3日〔10月16日（火）〕 9:15～11:30 口頭発表

D 会場

中層大気

座長：西井 和晃（東大院理）

- D301 鈴木 順子（京大生存研）ERA-40データをもちいた熱帯対流圏界面付近にみられる赤道ケルビン波と背景風の関係
- D302 河谷 芳雄（FRCGC）赤道成層圏QBOに於ける赤道波と内部重力波の役割 Part I
- D303 伊藤 耕介（東大院理）赤道準二年周期振動（QBO）と成層圏界面の温度変化との相互作用としての北半球冬季成層圏循環の変動
- D304 富川 喜弘（極地研）高解像度気候モデルを用いた冬半球亜熱帯成層圏界面に現れる気温極大の解析
- D305 渡辺 真吾（FRCGC）T213L256大気大循環モデルを用いた内部重力波と中層大気大循環の研究
- D306 佐藤 薫（東大院理）成層圏極渦から発生する重力波
- D307 西井 和晃（東大院理）成層圏からの下向き局所的波束伝播と基本場西風の気候分布と経年変動
- D308 柴田 清孝（気象研）気象研究所大気大循環モデルにおける突然昇温について（気候値ランと強制カランの大昇温の比較）
- D309 永柄 恵（九大院理）成層圏突然昇温に伴う子午面循環について
- D310 小寺 邦彦（名大院環境）熱帯積雲対流活動に対する成層圏突然昇温現象の影響：2001年12月の突然昇温予報実験結果から
- D311 一丸 知子（九大院理）大規模突然昇温に伴うプラネタリー波の予測可能性
- D312 向川 均（京大防災研）対流圏北半球環状モードの予測可能性変動と成層圏循環との関連性

大会第3日〔10月16日（火）〕 13:30～17:00 口頭発表

A 会場

スペシャルセッション「静止衛星観測Ⅱ：静止衛星リモートセンシング観測の新展開」

座長：早坂 忠裕（地球研）

- A351 早坂 忠裕（地球研）次世代の静止衛星観測に期待するもの
- A352 山本 宗尚（千葉大CEReS）4大学連携VLにおける千葉大学の取り組み -全球静止気象衛星データセットの概要と必要性-
- A353 竹中 栄晶（千葉大CEReS）4大学連携VLにおける千葉大学の取り組み -静止気象衛星による放射収支の推定と大気放射プロダクトの作成-

座長：高橋 暢宏（NICT）

- A354 高菟 縁（東大気候システム）次世代静止衛星による雲・降水・雷観測への期待 ---熱帯気象の立場から---
- A355 佐藤 正樹（東大気候システム）全球雲解像モデルNICAMと静止気象衛星観測の連携
- A356 Mendrok, Jana（NICT）Feasibility of Ice Cloud Remote Sensing in the Microwave through Mid-Infrared Spectral Region
- A357 青梨 和正（気象研）静止衛星搭載マイクロ波放射計データからの降水情報の利用可能性について
- A358 牛尾 知雄（阪大院工）静止気象衛星搭載赤外放射計と低軌道衛星搭載マイクロ波放射計データを用いた高分解能全球降水マップの作成
- A359 今須良一（東大気候システム）人工衛星からの中間～遠赤外スペクトル観測の意義
- A360 落合 啓（NICT）静止衛星からのマイクロ波・テラヘルツ波放射観測の可能性
- A361 笠井 康子（NICT）静止衛星リモートセンシング観測フィージビリティ研究

座長：秋元 肇（FRCGC）

- A362 秋元 肇（FRCGC）静止大気環境観測衛星の実現へ向けて
- A363 近藤 豊（東大先端研）静止衛星による大気化学観測の有効性
- A364 入江 仁士（FRCGC）衛星・地上観測の複合利用による大気汚染物質の時空間分布の研究－静止衛星観測に期待すること－
- A365 川上 修司（JAXA/EORC）静止衛星による環境観測および災害監視の計画について
- A366 滝川 雅之（FRCGC）大気環境衛星と化学輸送モデル
- A367 北 和之（茨城大理）静止衛星による対流圏オゾンとその前駆気体の観測

座長：中澤 哲夫（気象研） / 笠井 康子（NICT）

総合討論

※A354およびA362はキーノート講演(質疑込み17分). A355, A357, A363はコメンテータ講演(質疑込み13分). その他は一般講演(質疑込み13分). ただしA360, A361は質疑込み5分.

大会第3日〔10月16日（火）〕 13:30～17:00 口頭発表

B 会場

スペシャルセッション「熱帯低気圧の力学研究・モデリング・予報の未来：大山先生・栗原先生の業績を記念して」

座長：上野 充（気象研）

- B351 山岬 正紀（FRCGC）熱帯低気圧の研究における故大山勝通氏の業績を振り返る
 B352 吉岡真由美（環境研）熱帯低気圧の研究における故栗原宜夫氏の業績を振り返る

座長：坪木 和久（名大地球水循環）

- B353 上野 充（気象研）数値モデルで得られた台風中心軸の傾斜と気温変化
 B354 村田 昭彦（気象研）積雲対流パラメタリゼーションにおける雲量の影響
 B355 沢田 雅洋（東北大院理）氷相過程が台風の発達に及ぼす影響
 B356 中野 満寿男（AESTO/気象研）鉛直シアー場における冷却による渦生成
 B357 榎本 剛（地球シミュレータ）竜巻をもたらした台風2006年第13号周辺の環境場
 B358 和田 章義（気象研）非静力学台風モデルによる2004年台風10号の予測実験
 B359 吉野 純（岐阜大工）渦位逆変換法による可能最大高潮評価手法に関する検討

座長：別所 康太郎（気象研）

- B360 山田 広幸（IORGC）カロリン諸島における熱帯低気圧の発生過程に関する観測研究
 B361 斉藤 貞夫（JAXA/EORC）Aqua衛星搭載のマイクロ波放射計AMSR-Eが観測した台風の風速
 B362 星野 俊介（気象研）台風の温帯低気圧化時に見られるAMSU気温データの特徴
 B363 中野 藤之（阪大院工）台風において雷を発生させる雲の雲物理と電荷分布
 B364 北島 尚子（気象研）日本本土に上陸した台風の構造

座長：筒井 純一（電中研）

- B365 筒井 純一（電中研）JRA-25長期再解析データを用いた熱帯低気圧の気候学的研究：日本に接近・上陸する台風の構造変化
 B366 柳瀬 亘（東大気候システム）熱帯低気圧の全球高解像シミュレーション：7月気候値実験
 B367 Pham, Minh Tuan（名大院工）非経験的で高速な台風抽出手法の提案
 B368 久保田 尚之（IORGC）西部北太平洋域での降水量の季節変化、年々変動に対する熱帯低気圧のインパクト

※B351 および B352 は追悼記念講演(質疑込み20分)、その他は一般講演(質疑込み10分)

大会第3日〔10月16日（火）〕 13:30～17:00 口頭発表

C 会場

大気放射

座長：小林 隆久（気象研）

- C351 鳥海 貢（千葉大院理）シャドウバンドを用いて観測した光合成有効放射量（PAR）の時系列変化
- C352 青木 輝夫（気象研）積雪アルベド物理モデルの地上観測データによる検証
- C353 山崎 明宏（気象研）エアロゾル散乱係数の湿度特性の測定（2）
- C354 工藤 玲（気象研）Broad-Band放射計による可視・近赤外域の直達・散乱光からのエアロゾル光学特性の推定
- C355 岩渕 弘信（FRCGC）雲の3次元放射効果（1）：モデル開発と比較検証
- C356 石川 裕彦（京大防災研）MTSAT中間赤外（ $3.7\mu\text{m}$ 帯）データを用いた雲反射率の算出
- C357 小林 隆久（気象研）雲粒臨界半径の衛星による観測
- C358 Desbiens, Raphaël（環境研）Optimization of GOSAT Atmospheric VMR Profile Retrieval Using Empirical Orthogonal Functions Representation

観測手法

座長：永井 智広（気象研）

- C361 花房 龍男（英弘精機）フラット・アレイ型ソーダの野外観測について
- C362 清水 健作（明星電気）GPSラジオゾンデを使った成層圏の撮影と観測機器回収
- C363 石井 昌憲（NICT）CO₂濃度計測用コヒーレント差分吸収ライダーの開発②
- C364 阿保 真（首都大システムデザイン） $1.6\mu\text{m}$ 帯を用いた二酸化炭素鉛直分布観測用DIAL（1）—送信部の開発—
- C365 永井 智広（気象研） $1.6\mu\text{m}$ 帯を用いた二酸化炭素鉛直分布観測用DIAL（2）—受信部の開発—
- C366 真木 雅之（防災科研）偏波間位相差を用いた反射因子と反射因子差の降雨減衰補正
- C367 植松 明久（NICT）EarthCARE 衛星搭載雲レーダによって観測されるドップラー速度誤差の評価
- C368 大野 裕一（NICT）CloudSat雲レーダのSPIDER観測による検証（2）
- C369 萩原 雄一朗（東北大院理）CloudSat/CALIPSO衛星搭載雲レーダとライダーによるMODIS水雲判別結果の検証
- C370 藤田 実季子（IORGC）船上観測におけるGPS可降水量の精度評価
- C371 米山 邦夫（IORGC）MISMO観測期間中における海面水温測定

大会第3日〔10月16日（火）〕 13:30～17:00 口頭発表

D 会場

気候システムⅢ

座長：水野 量（気象大）

- D351 市橋 正生（所属なし）TRMM/LISデータを用いた日本付近における地震日・雷日の統計研究
- D352 木村 詞明（北大低温研）人工衛星データを用いたオホーツク海の海氷移流軌跡の解析
- D353 金田 幸恵（AESTO/気象研）水平解像度5km非静力学モデルによる領域温暖化予測実験：雲タイプ別分布と降水特性の変質～雲システム分類の試み
- D354 吉兼 隆生（FRCGC）擬似温暖化手法を用いた地球温暖化による日本の冬期積雪の影響評価
- D355 倉橋 永（気象庁数値予報）20km地域気候モデルによる冬季降水の再現性と温暖化予測
- D356 初鹿 宏壮（富山県環境科学センター）富山県における温暖化調査研究 - 県内各地の降雪量及び日数の変化傾向 -
- D357 鈴木 博人（JR東日本研究開発センター防災研究所）東北から北陸の日本海側地域の年最大積雪深と気温の関係
- D358 福岡 義隆（立正大地球環境科学）関東地方における南岸低気圧通過時の内陸寒気と降雪に関する研究
- D359 中村 哲（東海大地球）東京に積雪をもたらす大規模場とその長期変動
- D360 中井 専人（防災科研）暖冬年が降水量データに与える影響
- D361 西森 基貴（農環研）温暖化影響評価のためのGCM出力循環場からの日射量推定手法の開発—GCMのバイアス補正と統計的ダウンスケーリング—

座長：田 少奮（日大文理）

- D362 山崎 信雄（気象大）日本付近における地上気圧の長期傾向と強い降水との関連
- D363 水野 量（気象大）日降水量極値の経年変化
- D364 藤部 文昭（気象研）区内観測による日降水量データのデジタル化と降水長期変動解析への利用
- D365 中塚 武（北大低温研）樹木年輪の酸素同位体比から復元した過去276年間の日本中部の梅雨前線活動の年々変動—低・高緯度の気候循環場とのテレコネクション解析—
- D366 藤部 文昭（気象研）早明浦ダムの貯水量と降水量の変動特性
- D367 盛 宣誠（岡山大教育）盛夏から秋雨への移行期における日本付近の降水と台風
- D368 馬淵 和雄（気象研）BAIM2を導入した地域気候モデルにより再現された陸域植生LAIの年々変動と衛星NDVIによる検証
- D369 徐 健青（FRCGC）パン蒸発計蒸発量からみたチベット高原の湿潤度の変化
- D370 谷田貝 亜紀代（地球研）中国北西部Qiyi氷河周辺の水蒸気輸送 — 水蒸気の同位体解析ケーススタディー（2） —
- D371 池田 祥一郎（岡山大自然）春から梅雨期の中国大陸上の前線帯北方の水蒸気量の季節的变化と大規模場について
- D372 田 少奮（日大文理）黄砂飛来頻度と中国北部のダストストーム発生頻度の変動との関係

大会第1日〔10月14日（日）〕 17:00～18:00 ポスター・セッション

- P101 高橋 庸哉（北教大実セ）身近な素材『雪』の学びをどうサポートするか？—Webコンテンツ開発とその普及
- P102 小松 麻美（気象協会）気象教育教材の開発と実践～立体天気図を用いた実験教室～
- P103 大内田 健（京大院理）短期予報における誤差成長の水平風速に対する感度実験
- P104 永戸 久喜（気象研）レーダ反射強度データとの比較による雲解像モデルの降水物質予測特性の検証と改善の検討
- P105 岡本 幸三（気象庁数値予報）ハイパースペクトル赤外サウンダAIRSの輝度温度の同化（1）
- P106 妻鹿 友昭（大阪府大院工）広帯域レーダによる高距離分解能な降雨観測
- P107 関澤 信也（NICT）MSPC-WPRのアンテナビーム切り換えに関する一検討
- P108 前坂 剛（防災科研）風速の対数則を仮定したドップラーレーダによる地上風推定手法について
- P109 中村 卓司（京大生存研）小型ラマンライダーによる火山噴気中の水蒸気観測
- P110 佐藤 陽介（京大生存研）小型ラマンライダーによる沖縄亜熱帯域下部対流圏の水蒸気分布の観測
- P111 川岸 諒子（奈良女子大理）流跡線解析ツールSPIRALの開発と対流圏オゾン解析への応用
- P112 藤田 玲子（気象研）成層圏化学-気候モデルランを用いた北極振動とオゾン分布の解析
- P113 室崎 将史（東京理科大理）富士山におけるオゾン濃度と二酸化窒素濃度の動態解析
- P114 柴崎 登紀子（奈良女子大理）OMIセンサーで得られた対流圏NO₂気柱量の初期解析結果
- P115 真野 裕三（気象研）ライダーによるエアロゾル粒径分布の推定における非球形性の効果
- P116 渡辺 幸一（富山県立大短大部）立山における微量気体成分、エアロゾル粒子および霧水・降水化学の観測
- P117 鈴木 攻祐（防衛大地球海洋）地上観測データを使用した降水による都市大気からのNO_x除去量の推定
- P118 田中 泰宙（気象研）気象研究所地球システムモデルによるピナツボ火山起源エアロゾルのシミュレーション（その2）：エアロゾルとオゾン光化学、大気放射の相互作用
- P119 古賀 聖治（産総研）海洋大気における巨大粒子中の揮発成分 - 加熱による個数粒径分布の変化 -
- P120 小糸 竜太（九大院総理工）エアロゾルが気象要素の日変化に与える影響に関する研究
- P121 田中 悦子（気象研）札幌における積雪不純物のカーボン分析
- P122 黒川 純一（環境研）4次元変分法によるデータ同化を利用した中国NO_x排出量の逆推計
- P123 弓本 桂也（九大院総理工）4次元変分法を用いた衛星観測データの同化と黄砂の発生源逆推定
- P124 田中 真理子（九大院総理工）CALIPSO衛星とWRFモデルを用いたタリム盆地の対流不安定とダスト層についての解析
- P125 上田 哲大（北大院環境）降水と大気水蒸気の安定同位体比による東シベリアにおける降水の再循環過程の研究
- P126 宮崎 祐平（北大院環境）紋別に設置したドップラーレーダーを用いたオホーツク海沿岸の大気-海氷相互作用の観測
- P127 和田 章義（気象研）海洋表層の短時間変動が大気に与える影響-2004年梅雨期の降水日変化に関する数値実験-
- P128 根本 学（北海道農研）土壌凍結深の違いが農地環境と地表面熱収支に与える影響
- P129 宮崎 忠臣（前工大）北関東における夏季雷雲の総合観測2007（速報）
- P130 杉浦 幸之助（IORGC）モンゴル・トール川上流域における降水の標高依存性

大会第1日〔10月14日（日）〕 17:00～18:00 ポスター・セッション

- P131 眞崎 良光（国土地理院）地球自転速度変化で捉える東西風の盛衰
- P132 加藤 雅也（名大地球水循環）客観的低気圧トラッキング手法の開発
- P133 八木 晃司（東北大院理）北半球冬季のテレコネクションパターンと日本の気温の卓越変動との相互関係
- P134 田口 正和（愛知教育大）成層圏突然昇温の再現における鉛直分解能の影響
- P135 中本 光紀（神戸大院理）静止気象衛星撮像範囲における熱帯収束帯の季節変化と東西進する雲域との関係
- P136 阿保 真（首都大システムデザイン）ミーライダーによる赤道対流圏大気観測結果の周期変動解析
- P137 釜江 陽一（筑波大院生命環境）夏季アジアモンスーン域における降水効率の変動予測
- P138 彦坂 健太（東大気候システム）TRMM衛星データを用いた梅雨期における降雨特性の統計的解析
- P139 高橋 暢宏（NICT）TRMM/PRによる地表面に到達しない降雨の全球分布
- P140 川本 温子（地球研）雨量計を元としたグリッド日降水データの作成
- P141 吉田 健二（九大院理）大規模場から見た梅雨前線～九州地方の大雨事例～
- P142 庭野 将徳（FRCGC）スマトラ島の山岳が熱帯上部対流圏の鉛直変動に及ぼす影響
- P143 佐藤 友徳（学振/東大気候システム）対流活動の日変化位相にみられる非静力モデルの水平解像度依存性
- P144 石崎 紀子（筑波大院生命環境）モンスーンオンセット期の季節変化におけるインドシナ半島の役割
- P145 黄 智勇（名大院環境）The fractal characters of El Niño episodes
- P146 大庭 雅道（筑波大院生命環境）ENSOに対する大気の非線形応答がその遷移にもたらす効果
- P147 岩崎 杉紀（防大）熱帯圏界面付近に存在する巻雲の粒径分布の再現実験
- P148 井口 享道（東大気候システム）研究船みらい搭載レーダーライダー観測結果と気象庁非静力学モデル計算結果による雲の鉛直微物理構造の比較
- P149 堀 雅裕（JAXA/EORC）2000年以降の北極域曇天率の経年変動
- P150 斎藤 篤思（気象研）氷晶核測定装置を用いた氷晶核数濃度の測定（その2）
- P151 林 修吾（気象研）JMANHMとWRFの雲物理量の比較
- P152 乙部 直人（福岡大理）ビデオゾンデデータの画像処理
- P153 折笠 成宏（気象研）気球を用いた黄砂エアロゾルと上層雲の観測 ―雲粒子ゾンデデータから得られた特徴―
- P154 松本 寛生（千葉大院理）Sky Radiometerによるエアロゾルの光学的特性の解析
- P155 岩渕 弘信（FRCGC）多重スケーリング法を用いた放射輝度の計算
- P156 菊田 元美（北大院環境）対流圏下層に見られるエアロゾルと雲の層構造の観測
- P157 筆保 弘徳（IORGC）数値シミュレーションによる台風内部水循環の研究
- P158 吉野 純（岐阜大工）1994年と1998年夏季における台風の可能最大強度と実強度との関係性の一考察
- P159 木原 直人（電中研）波浪、波しぶきの影響を考慮した台風環境下での海面熱フラックス
- P160 猪上 華子（気象研）2006年4月20日神奈川県藤沢市で発生した竜巻の発生環境について
- P161 福原 弘之（高知大院理）佐呂間竜巻に関する目撃証言
- P162 藤原 忠誠（北大院環境）ドップラーライダーで検出した”つむじ風”
- P163 西谷 諒（京大院理）南極大陸におけるカタバ風ジャンプの数値実験

大会第1日〔10月14日（日）〕 17:00～18:00 ポスター・セッション

- P164 山下 和也（北大院環境）大気境界層で観測されるストリーク気流構造の特性
- P165 坂崎 貴俊（北大理）大気下層の風の日変動 ー海陸風・山谷風と大気潮汐の観点からー
- P166 泉 岳樹（首都大都市環境）カラマツ林における方向別反射特性の季節変化 -日向葉・日陰葉の反射率の差に注目して-
- P167 塚本 幸生（岡山大院）森林における夜間のCO₂流出量評価（II）
- P168 草本 真志（岡山理大院総情）広島県三次盆地で発生する大規模霧の動態 ～地上気象観測～
- P169 山尾 理恵子（防衛大地球海洋）百里飛行場における霧発生時の気象状態について
- P170 遠宮 善陽（東北大院理）三陸沖における船舶・航空機を用いたヤマセの大気構造及びヤマセ雲の雲物理特性の解析-2
- P171 金森 史郎（東大気候システム）乱気流をもたらしたと考えられる山岳波の数値シミュレーションによる解析
- P172 福原 隆彰（鉄道総研）鉄道沿線における最大瞬間風速の再現期待値の推定
- P173 岩井 宏徳（NICT）ドップラーライダーによる東京都内における夜間下層ジェットの観測
- P174 堀江 祐圭（北大院情報科学）温熱感指標のフィードバックモデルを用いた屋外気候の表現方法
- P175 佐藤 昇（大阪府教育センター）大阪でのヒートアイランドの観測
- P176 関 隆則（気象予報士会）都心の晴れの日における風速の変化傾向
- P177 根本 由紀子（気象予報士会）各地の最高気温の比較
- P178 小池 克征（いであ）利根川上流域における一冬の総降水量算出の試み
- P179 石坂 雅昭（防災科研）メッシュ気候値2000に基づく積雪地域の質の気候図
- P180 中井 専人（防災科研）雪雲の種類別に見た2005年12月の降水分布特性
- P181 吉池 聡樹（富山大院理工）平成18年豪雪と平成19年少雪時の冬季モンスーンと爆弾低気圧活動の関係
- P182 栗山 佳恵（九大総理工）那覇における寒気の吹き出し構造の分類および頻度に関する研究
- P183 高橋 信人（東大空間情報）夏季モンスーン期の日本付近にみられる前線活動の季節推移
- P184 村崎 万代（気象研）JRA-25を境界条件とした地域気候モデルを用いた過去の気候再現実験（その2）
- P185 高藪 出（気象研）RCMによるCGCMのダウンスケーリングー西方擾乱と一般場の関連についてー
- P186 佐々井 崇博（産総研）2001～2006年における全球純一次生産量の推定
- P187 蒲生 稔（産総研）植生指数と乾燥指数による乾燥域・砂漠化域の分類
- P188 一條 寛典（東大気候システム）エアロゾル気候モデルSPRINTARSを用いた氷期のダスト分布シミュレーションの植生依存性
- P189 児嶋 恵（東大気候システム）チベット高原の高度上昇に伴う地質的作用の気候への影響
- P190 吉田 聡（地球シミュレータ）AFESへの乱流凝結過程の導入
- P191 杉本 憲彦（名大院工）大規模気候データの高速自己組織化マップによる可視化抽出例
- P192 杉山 聡（NTT環境エネルギー研究所）雷日数の長期的変動予測の検討
- P193 石原 幸司（気象研）MRI-RCM20による温暖化予測結果に基づく不確実性の評価について

大会第3日〔10月16日（火）〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P301 皆川 恵祐（東北大院理）ロスビー波及びケルビン波による金星中層大気に対する力学的効果
- P302 新藤 永樹（気象研）Noether の定理と波の振幅2次Flux 保存則について
- P303 川畑 拓矢（気象研）NHM-4DVARによる首都圏豪雨再現の試み
- P304 山口 弘誠（京大院工）ドップラーレーダー情報を用いた降雨予測に関するデータ同化手法の比較
- P305 古本 淳一（京大生存研）COSMIC衛星によるGPS掩蔽データにGSM予報値データを第一推定値とした1次元変分法を適用した気温・水蒸気解析
- P306 小司 禎教（気象研）GPS掩蔽法：対流圏下層の品質管理について（その2）
- P307 石元 裕史（気象研）フラクタル次元を用いた雪片のモデル化とレーダー反射特性の計算
- P308 瀬古 弘（気象研）ドップラーレーダのIQデータを用いた水蒸気推定の試み
- P309 梅澤 拓（東北大院理）アラスカにおける航空機観測に基づいたメタン放出源の同位体比の推定
- P310 忠鉢 繁（気象研）南極上空の極夜期間のオゾン全量
- P311 森岡 浩（北大院環境）インドネシア・ワトコセにおける対流圏オゾンの長期変化
- P312 藤田 慎一（電中研）大気下層におけるオゾン濃度の鉛直分布
- P313 吉田 幸生（環境研）巻雲存在下における CO₂ 気柱量推定アルゴリズムの検討 その2
- P314 伊藤 春奈（奈良女子大理）人工衛星による対流圏NO₂観測と大気環境常時監視局による地表NO₂観測との比較
- P315 山田 丸（熊本県立大環境共生/学振）気球搭載型バイオエアロゾルサンプラーの開発
- P316 小林 拓（山梨大）2006年夏季の富士山山頂におけるエアロゾル連続観測およびその変動成分解析
- P317 出牛 真（気象研）気象研究所対流圏一成層圏化学気候モデルの開発 ―モデルの概要と予備実験結果―
- P318 永井 智広（気象研）ライダーによる成層圏エアロゾルの長期モニタリング
- P319 柴田 隆（名大院環境）ライダーの新粒子生成イベント観測への応用
- P320 内田 智恵（九大院総理工）エアロゾル準直接効果による気象場の変化
- P321 南部 純一（富山大理地球科学）富山における越境大気汚染物質の光学的特性
- P322 加藤 真依子（富山大院理工学教育）長崎県における2006年春季の黄砂現象と越境大気汚染
- P323 馬場 龍太（九大院総理工）化学輸送モデルを用いた東アジア域の光化学オゾンの経年変化と解析
- P324 石塚 正秀（香川大工）飛砂とダストの発生機構の同時観測（JADE-IOP）―弱い降雨後のクラスター・凝集形成によるダスト濃度の粒径別変化―
- P325 二橋 創平（北大低温研）オホーツク海沿岸ポリニヤ域における海水生産量とその季節内変動
- P326 高野 陽平（東海大院理）熱源・水蒸気源解析からみた2005年12月の日本周辺の気団変質および大気大循環の特徴
- P327 中田 淳子（岐阜大流域圏）中部山岳地帯における陸面過程モデルの開発と森林生態系機能の評価
- P328 堅田 元喜（原子力機構）乾燥・半乾燥地域における植生への霧水沈着に関する数値的研究：1.霧水沈着量の定量的評価
- P329 萩野谷 成徳（気象研）チベット高原上の広域熱収支の推定 ―WI が代表する空間スケール―
- P330 紺屋 恵子（IORGC）モンゴルアルタイ山脈・Potanin氷河の気象条件に関する考察
- P331 山崎 哲（九大院理）ブロッキングの持続機構に関する事例研究
- P332 吉田 康平（北大院地球環境）熱帯対流圏界面付近の温度変動要因～子午面循環の変動が与える影響～
- P333 久保川 陽呂鎮（北大院環境）全球・非静力学大気モデルを用いた対流圏界面領域の解析（2）

大会第3日〔10月16日（火）〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P334 熊田 桂子（九大院理）Three Dimensional Wave Activity Flux による大気潮汐波の解析
- P335 西 憲敬（京大院理）熱帯上部対流圏における大規模東進擾乱の構造
- P336 安田 珠幾（気象研）大気海洋結合モデル20世紀再現実験における熱帯太平洋表層貯熱量の変動特性
- P337 木島 梨沙子（京大院工）低頻度衛星観測情報から得られる瞬時降雨量の時間相関・空間相関長さのグローバル分布の推定
- P338 広瀬 正史（名大地球水循環）背の低い雨に関するTRMM PRの観測特性と降水分布の系統誤差
- P339 山浦 剛（熊本大院自然）梅雨前線の経年変動にみられる東西差異
- P340 沖山 晃一（九大院理）梅雨期における九州付近の降水の日変化
- P341 福谷 陽（東大海洋研）2005年6月中旬に梅雨前線を東進したメソ α 擾乱の解析
- P342 浜田 純一（IORGC）スマトラ島及び周辺域における降水量観測に基づく降水日変化と季節内変動の関連
- P343 遠藤 伸彦（IORGC）夏季の東アジアにおける降水タイプ別の日変化パターンと経年変化
- P344 北見 佳史（京大院理）初夏に東アジアに見られる10-25日周期の季節内変動の解析
- P345 山田 尚志（筑波大院生命環境）El NiñoからLa Niñaへの遷移を決定する大気海洋結合系の差異
- P346 藤原 正智（北大院環境）熱帯西太平洋の対流圏界面領域におけるCirrusの観測
- P347 圓若 和希（名大院環境）熱帯巻雲、CALIPSOで観測された雲頂高度と気象衛星による輝度温度の関係
- P348 江口 菜穂（環境研）GOSAT/TANSO-FTS 観測視野内の晴天率について
- P349 佐藤 陽祐（東大気候システム）雲粒子成長過程における衝突・併合過程のモンテカルロ法を用いた計算その2～評価と感度実験～
- P350 橋本 明弘（気象研）JMANHM 4-ICE 雲微物理過程の開発
- P351 大西 領（地球シミュレータ）ビン法を実装したMSSG-Aによる乱流雲のシミュレーション
- P352 荒巻 紀子（東海大）雲とエアロゾルの混在状態を考慮した雲特性解析計画
- P353 吉田 研一郎（東北大院理）能動型および受動型リモートセンシングによる仙台上空におけるエアロゾルの物理特性の観測
- P354 朽木 勝幸（気象研）太陽遮蔽型全天分光日射計による積雪分光アルベドの測定
- P355 三浦 和彦（東京理科大）大気エアロゾル粒子の空気力学径と光学径の同時測定による屈折率推定
- P356 沢田 雅洋（東北大院理）蒸発冷却がレインバンドの形成・伝播に及ぼす影響について
- P357 栢原 孝浩（防災科研）大気大循環モデルによる温暖化実験の台風の最大可能強度について
- P358 一柳 錦平（IORGC）台風（T0613）通過時に観測された顕著に低い水蒸気同位体組成
- P359 益子 渉（気象研）高解像度非静力学モデルによるT0613号に伴う竜巻のシミュレーションー竜巻の発生過程の解析ー
- P360 山下 賢介（高知大院理）竜巻に伴う飛散物の挙動
- P361 佐藤 英一（札幌管区气象台）2007年5月31日長沼町で発生した竜巻
- P362 阿部 義子（北大院環境）スマトラ島で観測した突風現象についてーXバンドドップラーレーダーによる観測ー
- P363 劉 發華（CTC）冬季南極大陸における接地逆転層の分布について
- P364 川村 誠治（NICT）ウィンドプロファイラ観測データを用いた混合層の解析
- P365 吉田 聖治（名大院環境）接地境界層・対流混合層それぞれで観測された卓越渦スケールと乱流構造

大会第3日〔10月16日（火）〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P366 村山 昌平（産総研）冷温帯落葉広葉樹林における大気中 CO_2 の $\delta^{18}\text{O}$ の季節変化の年々変動
- P367 花岡 慶賢（岡山大院環境）大麦群落における夜間吸収 CO_2 フラックス
- P368 奥田 智洋（防大地球）青森県三沢飛行場における霧発生時の特徴
- P369 次田 泰（東北大院理）高解像度モデルによるヤマセ雲の数値シミュレーション
- P370 浜元 陽平（北大院地球環境）北海道オホーツク海側に発生する大気波動の解析 ―紋別に設置したXバンドドップラーレーダーによる観測―
- P371 大橋 唯太（岡山理大総合情報）「六甲おろし」の分類と発生機構の調査
- P372 高橋 宙（気象研）孤立峰を大気化学観測塔として利用するための気象場の調査
- P373 門倉 真二（電中研）AMeDAS データの空間補間による風速推定手法とその評価
- P374 森泉 孝信（東工大院理工）屋外模型都市における建物配列の違いが大気に及ぼす影響の比較検討
- P375 山本 享（いであ）観測による黒球温度指示値とその決定要因の検討
- P376 竹村 雅之（気象予報士会）夏季晴天日の気温変化に着目した千葉県内アメダスの特徴
- P377 梶野 瑞王（東大先端研）乾燥・半乾燥地域における植生への霧水沈着に関する数値的研究：2.緑化ポテンシャルの広域的評価
- P378 脇水 健次（九大院農）北部九州における液体炭酸を用いた人工降雨実施可能な冬季積雲の出現頻度
- P379 岩本 勉之（防災科研）新潟、北陸地域の降雪分布の特徴
- P380 本谷 研（秋田大教育文化）東北地方における総雪水量の年々変動と豪雪・少雪
- P381 佐藤 拓也（東北大院理）宮城県における冬季筋状雲による降雪発生メカニズム
- P382 長谷川 寛（気象庁気候情報）2006/2007年の暖冬の要因について
- P383 高橋 清利（気象研）日本における暖候期の月降水量分布の変動パターンと大気循環場の関係
- P384 佐々木 秀孝（気象研）非静力学地域気候モデルによる現在気候再現実験（その2）
- P385 野田 暁（FRCGC）全球非静力学モデルNICAMにおける境界層雲の検証と改良
- P386 萬 和明（京大院工）相関分析による植生に対する気象支配因子の推定
- P387 村上 和隆（名大院環境）シンプル地球システムモデルによる陸域生物圏の解析
- P388 木村 隆太郎（東大気候システム）氷期における急激な気候変動が西太平洋および東アジア域へ与える影響
- P389 高田 久美子（FRCGC）耕地化がアジアモンスーンに与えた影響～産業革命以前（1700～1850年）の変化～
- P390 田口 文明（地球シミュレータ）AFESへの乱流凝結過程の導入（その2）：大気海洋結合系における熱帯海洋表層循環への影響
- P391 飯泉 仁之直（農環研）温暖化による日射環境変化推定に用いる統計的ダウンスケーリング手法の構築
- P392 今田 由紀子（東大気候システム）大気海洋結合大循環モデルに見られる数十年規模のENSOの変調
- P393 大島 和裕（北大院地球環境）地球温暖化に伴って極域正味降水量が増加する原因

講演者索引

< A >

Abe Manabu (阿部 学) A208
 Abe Yoshiko (阿部 義子) P362
 Abo Makoto (阿保 真) C364
 Abo Makoto (阿保 真) P136
 Akimoto Hajime (秋元 肇) A362
 Akiyoshi Hideharu (秋吉 英治) D254
 Aoki Kazuma (青木 一真) D205
 Aoki Teruo (青木 輝夫) C352
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) A357
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) C113
 Aoyagi Toshinori (青柳 曉典) D103
 Arai Miki (荒井 美紀) A115
 Arakawa Osamu (荒川 理) A118
 Aramaki Noriko (荒巻 紀子) P352
 Aranami Kohei (荒波 恒平) B203
 Asou Yoshihito (麻生 祥仁) A105

< B >

Baba Kenji (馬場 賢治) A216
 Baba Ryouta (馬場 龍太) P323
 Baron Philippe D265
 Bessho Kotaro (別所 康太郎) A304

< C >

Chen Guixing (陳 桂興) A111
 Chiba Akira (千葉 晃) D115
 Chikira Minoru (千喜良 稔) A214
 Chino Yoshimi (知野 義美) A253
 Chubachi Shigeru (忠鉢 繁) P310
 Chuda Takashi (中田 隆) C304

< D >

Desbiens Raphael C358
 Deushi Makoto (出牛 真) P317

< E >

Eguchi Nawo (江口 菜穂) B105
 Eguchi Nawo (江口 菜穂) P348
 Eito Hisaki (永戸 久喜) P104
 Emori Seita (江守 正多) A210
 Endo Nobuhiko (遠藤 伸彦) P343
 Enomoto Takeshi (榎本 剛) B357

< F >

Fudeyasu Hironori (筆保 弘徳) P157
 Fujibe Fumiaki (藤部 文昭) D364
 Fujibe Fumiaki (藤部 文昭) D366
 Fujita Mikiko (藤田 実季子) C370
 Fujita Reiko (藤田 玲子) P112
 Fujita Shinichi (藤田 慎一) P312
 Fujiwara Chusei (藤原 忠誠) P162
 Fujiwara Masatomo (藤原 正智) P346
 Fujiyoshi Yasushi (藤吉 康志) D118
 Fukuda Junya (福田 純也) B252
 Fukuda Satoru (福田 悟) A309
 Fukuhara Hiroyuki (福原 弘之) P161
 Fukuhara Takaaki (福原 隆彰) P172
 Fukuoka Yoshitaka (福岡 義隆) D358
 Fukutani You (福谷 陽) P341

Furumoto Jun-ichi (古本 淳一) P305

< G >

Gamo Minoru (蒲生 稔) P187
 Goto Daisuke (五藤 大輔) D203

< H >

Haga Yasuyuki (羽賀 泰之) C206
 Hagihara Yuichiro (萩原 雄一朗) C369
 Haginoya Shigenori (萩野谷 成徳) P329
 Hamada Jun-ichi (浜田 純一) P342
 Hamamoto Youhei (浜元 陽平) P370
 Hamasaki Takahiro (濱崎 孝弘) A260
 Hanafusa Tatsuo (花房 龍男) C361
 Hanaoka Yoshimasa (花岡 慶賢) P367
 Hara Masahiro (原 昌弘) B206
 Hara Tabito (原 旅人) B204
 Hasegawa Akira (長谷川 聡) A213
 Hasegawa Hiroshi (長谷川 寛) P382
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) C102
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) P350
 Hashimoto Koji (橋本 孝治) C309
 Hatsushika Hiroaki (初鹿 宏壮) D356
 Hayasaka Tadahiro (早坂 忠裕) A351
 Hayashi Syugo (林 修吾) C215
 Hayashi Syugo (林 修吾) P151
 Higashi Kuniaki (東 邦昭) C203
 Hikosaka Kenta (彦坂 健太) P138
 Hirasawa Naohiko (平沢 尚彦) C310
 Hirose Masafumi (広瀬 正史) P338
 Honda Meiji (本田 明治) A102
 Hori Masahiro (堀 雅裕) P149
 Horie Yuka (堀江 祐圭) P174
 Hoshino Shunsuke (星野 俊介) B362
 Htway Ohnmar A110
 Huang Zhiyong (黄 智勇) P145

< I >

Ichihashi Masaki (市橋 正生) D351
 Ichijo Hironori (一條 寛典) P188
 Ichimaru Tomoko (一丸 知子) D311
 Ichiyonagi Kimpei (一柳 錦平) P358
 Iga Keita (伊賀 啓太) B256
 Iguchi Takamichi (井口 享道) C213
 Iguchi Takamichi (井口 享道) P148
 Iguchi Takao (井口 敬雄) D262
 Iizumi Toshichika (飯泉 仁之直) P391
 Ikeda Shoichiro (池田 祥一郎) D371
 Imada Yukiko (今田 由紀子) P392
 Imai Maki (今井 真希) C214
 Imasu Ryoichi (今須良一) A359
 Inaba Morio (稲葉 守生) B210
 Inoue Hanako (猪上 華子) P160
 Inoue Jun (猪上 淳) C306
 Inoue Jun (猪上 淳) C307
 Inoue Makoto (井上 誠) A109
 Inoue Toshiro (井上 豊志郎) A302
 Irie Hitoshi (入江 仁士) A364
 Ishidoya Shigeyuki (石戸谷 重之) D257
 Ishihara Koji (石原 幸司) P193

Ishii Shoken (石井 昌憲) C363
 Ishikawa Hirohiko (石川 裕彦) C356
 Ishimoto Hiroshi (石元 裕史) P307
 Ishiwatari Masaki (石渡 正樹) B306
 Ishizaka Masaaki (石坂 雅昭) P179
 Ishizaki Noriko (石崎 紀子) P144
 Ishizuka Masahide (石塚 正秀) P324
 Islam Md Nzrul B104
 Itano Toshihisa (板野 稔久) B263
 Ito Haruna (伊藤 春奈) P314
 Ito Kosuke (伊藤 耕介) D303
 Itoh Hisanori (伊藤 久徳) A103
 Iwabuchi Hironobu (岩渕 弘信) C355
 Iwabuchi Hironobu (岩渕 弘信) P155
 Iwai Hironori (岩井 宏徳) D102
 Iwai Hironori (岩井 宏徳) P173
 Iwamoto Katsushi (岩本 勉之) P379
 Iwanami Koyuru (岩波 越) C107
 Iwasaki Sugunori (岩崎 杉紀) P147
 Iwasaki Toshiki (岩崎 俊樹) A212
 Izumi Takeki (泉 岳樹) P166

< K >

Kachi Misako (可知 美佐子) C115
 Kadokura Shinji (門倉 真二) P373
 Kajino Mizuo (加野 瑞王) P377
 Kamae Youichi (釜江 陽一) P137
 Kamiguchi Kenji (上口 賢治) A211
 Kanada Sachie (金田 幸恵) D353
 Kanamori Shiro (金森 史郎) P338
 Kaneko Kazuma (金子 和真) A254
 Kaneyasu Naoki (兼保 直樹) D208
 Kanno Hiromitsu (菅野 洋光) A259
 Kasai Yasuko (笠井 康子) A361
 Kataoka Fumie (片岡 文恵) C312
 Katata Genki (堅田 元喜) P328
 Kato Kuranoshin (加藤 内蔵進) C207
 Kato Maiko (加藤 真依子) P322
 Kato Masaya (加藤 雅也) P132
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) C211
 Kawabata Takuya (川畑 拓矢) P303
 Kawagishi Ryoko (川岸 諒子) D253
 Kawagishi Ryoko (川岸 諒子) P111
 Kawakami Shuji (川上 修司) A365
 Kawamoto Haruko (川本 温子) P140
 Kawamoto Kazuaki (河本 和明) D201
 Kawamura Hiroshi (川村 宏) A306
 Kawamura Seiji (川村 誠治) P364
 Kawase Hiroaki (川瀬 宏明) C311
 Kawashima Masayuki (川島 正行) C205
 Kawatani Yoshio (河谷 芳雄) D302
 Kayaba Nobuyuki (萱場 互起) A261
 Kayahara Takahiro (栢原 孝浩) P357
 Khatri Pradeep D206
 Khiem Mai D107
 Kido Kazuo (木戸 和男) A255
 Kiguchi Masashi (木口 雅司) B102
 Kihara Naoto (木原 直人) P159
 Kikuta Motomi (菊田 元美) P156
 Kimura Noriaki (木村 訓明) D352

- Kimura Ryutarou (木村 隆太郎) P388
 Kinoshita Masahiro (木下 正博) D119
 Kishi Toyohisa (岸 豊久) C109
 Kita Kazuyuki (北 和之) A367
 Kita Kazuyuki (北 和之) D251
 Kitabatake Naoko (北畠 尚子) B364
 Kitami Yoshifumi (北見 佳史) P344
 Kitamura Yuji (北村 祐二) D110
 Kobayashi Hiroshi (小林 拓) P316
 Kobayashi Takahisa (小林 隆久) C357
 Kodama Chihiro (小玉 知央) B254
 Koderu Kunihiro (小寺 邦彦) D310
 Koga Seizi (古賀 聖治) P119
 Koike Katsuyuki (小池 克征) P178
 Koito Ryuta (小糸 竜太) P120
 Kojima Megumi (児嶋 恵) P189
 Komatsu Asami (小松 麻美) P102
 Komori Takuya (小森 拓也) B212
 Komori Takuya (小森 拓也) B213
 Kondo Keiichi (近藤 圭一) B214
 Kondo Yutaka (近藤 豊) A363
 Konishi Hiroyuki (小西 啓之) C108
 Konoshima Lisako (木島 梨沙子) P337
 Konosuke Sugiura (杉浦 幸之助) P130
 Konya Keiko (紺屋 恵子) P330
 Kosaka Yosuke (小坂 洋介) A108
 Koshida Tomoki (越田 智吾) C101
 Kubokawa Hiroyasu (久保川 陽呂鎮) P333
 Kubota Hisayuki (久保田 尚之) B368
 Kubota Takuji (久保田 拓志) C114
 Kuchiki Katsuyuki (朽木 勝幸) P354
 Kudo Rei (工藤 玲) C354
 Kumada Keiko (熊田 桂子) P334
 Kurahashi Haruka (倉橋 永) D355
 Kurita Naoyuki (栗田 直幸) C263
 Kurita Naoyuki (栗田 直幸) C264
 Kuriyama Kae (栗山 佳恵) P182
 Kuroda Yuhji (黒田 友二) A107
 Kurokawa Junichi (黒川 純一) P122
 Kusamoto Masashi (草本 真志) P168
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) C257
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) C258
 Kusunoki Shoji (楠 昌司) A205
 Kuwano-yoshida Akira (吉田 聡) C252
 Kuwano-yoshida Akira (吉田 聡) P190
- < L >
 Liu Fahua (劉 發華) P363
- < M >
 Mabuchi Kazuo (馬淵 和雄) D368
 Maesaka Takeshi (前坂 剛) P108
 Maki Masayuki (真木 雅之) C366
 Mano Yuzo (真野 裕三) P115
 Maruwaka Kazuki (圓若 和希) P347
 Masaki Yoshimitsu (真崎 良光) P131
 Mashiko Naoki (増子 直樹) C112
 Mashiko Wataru (益子 渉) P359
 Masunaga Hirohiko (増永 浩彦) B115
 Matsumoto Hiroki (松本 寛生) P154
 Matsushima Kazuhiro (松島 和宏) B262
 Mega Tomoaki (妻鹿 友昭) P106
 Mendrok Jana A356
 Mikami Masao (三上 正男) D209
- Minagawa Keisuke (皆川 恵祐) P301
 Mitsui Tatsuya (三井 達也) D202
 Miura Hisato (三浦 恒人) A305
 Miura Kazuhiko (三浦 和彦) P355
 Miyakawa Tomoki (宮川 知己) B113
 Miyama Toru (美山 透) D264
 Miyamoto Kengo (宮本 健吾) B211
 Miyamoto Yoshiaki (宮本 佳明) C259
 Miyazaki Tadaomi (宮崎 忠臣) P129
 Miyazaki Yuhei (宮崎 祐平) P126
 Miyoshi Takemasa (三好 建正) B215
 Mizuno Hakaru (水野 量) D363
 Mori Shuichi (森 修一) B109
 Mori Yoshinori (盛 宣誠) D367
 Moriizumi Takanobu (森泉 孝信) P374
 Morikawa Yasuhiro (森川 靖大) B305
 Morioka Hiroshi (森岡 浩) P311
 Motoya Ken (本谷 研) P380
 Mukougawa Hitoshi (向川 均) D312
 Murakami Taketaka (村上 和隆) P387
 Murakami Masataka (村上 正隆) C106
 Murakami Shigenori (村上 茂教) A202
 Murakami Shinichiro (村上 振一郎) B260
 Murata Akihiko (村田 昭彦) B354
 Murata Fumie (村田 文絵) B106
 Murayama Kouji (村山 貢司) A251
 Murayama Shohei (村山 昌平) P366
 Murayama Kazuyo (村崎 万代) P184
 Murosaki Masafumi (室崎 将史) P113
- < N >
 Nagae Megumi (永柄 恵) D309
 Nagai Tomohiro (永井 智広) C365
 Nagai Tomohiro (永井 智広) P318
 Nagashima Tatsuya (永島 達也) D252
 Nakai Sento (中井 専入) D360
 Nakai Sento (中井 専入) P180
 Nakamoto Mitsunori (中本 光紀) P135
 Nakamura Masaomi (中村誠臣) B208
 Nakamura Takuji (中村 卓司) P109
 Nakamura Tetsu (中村 哲) D359
 Nakano Fujiyuki (中野 藤之) B363
 Nakano Masuo (中野 満寿男) B356
 Nakano Tomoko (中野 智子) D260
 Nakanowatari Takuya (中野渡 拓也) C308
 Nakata Junko (中田 淳子) P327
 Nakatsuka Takeshi (中塚 武) D365
 Nakazato Masahisa (中里 真久) C256
 Nakazawa Tetsuo (中澤 哲夫) A303
 Nambu Jyunichi (南部 純一) P321
 Naoe Hiroaki (直江 寛明) D216
 Nasuno Tomoe (那須野 智江) B117
 Nemoto Manabu (根本 学) P128
 Nemoto Yukiko (根本 由紀子) P177
 Nihashi Sohey (二橋 創平) P325
 Ninomiya Kozo (二宮 洗三) A119
 Nishi Noriyuki (西 憲敬) P335
 Nishigaki Tsuguhito (西垣 語人) C262
 Nishii Kazuaki (西井 和晃) D307
 Nishimori Motoki (西森 基貴) D361
 Nishitani Ryo (西谷 諒) P163
 Niwano Masanori (庭野 将徳) P142
 Noda Akira-t (野田 暁) P385
 Nomura Toshio (野村 俊夫) B207
- Nozawa Toru (野沢 徹) A206
- < O >
 Ochiai Satoshi (落合 啓) A360
 Oda Tomohiro (小田 知宏) D263
 Odaka Masatsugu (小高 正嗣) B302
 Ohashi Yukitaka (大橋 唯太) D114
 Ohashi Yukitaka (大橋 唯太) P371
 Ohba Masamichi (大庭 雅道) P146
 Ohgaito Rumi (大垣内 ゐみ) A203
 Ohgashi Tadayasu (大東 忠保) C202
 Ohizumi Mitsuo (大泉 三津夫) D109
 Ohno Yuichi (大野 裕一) C368
 Ohtake Hideaki (大竹 秀明) C201
 Ohuchida Takeshi (大内田 健) P103
 Oikawa Hiroshi (及川 博史) B209
 Okajima Hideki (岡島 秀樹) C301
 Okamoto Hajime (岡本 創) C111
 Okamoto Kozo (岡本 幸三) A311
 Okamoto Kozo (岡本 幸三) P105
 Okiyama Kouichi (沖山 晃一) P340
 Oku Yuichiro (奥 勇一郎) A307
 Okuda Tomohiro (奥田 智洋) P368
 Okuyama Arata (奥山 新) A308
 Onishi Masanori (大西 将徳) D116
 Onishi Masanori (大西 将徳) D117
 Onishi Ryo (大西 領) P351
 Ooka Ryoza (大岡 龍三) D106
 Orikasa Narihiro (折笠 成宏) C105
 Orikasa Narihiro (折笠 成宏) P153
 Ose Tomoaki (尾瀬 智昭) A117
 Oshima Kazuhiro (大島 和裕) P393
 Otobe Naohito (乙部 直人) P152
 Otsuka Kiyotoshi (大塚 清敏) C313
 Oue Mariko (尾上 万里子) C210
- < P >
 Peng Xindong (彭 新東) B201
 Pham Minh-tuan B367
- < R >
 Rafi Uddin Md. B107
 Rikiishi Kunio (力石 國男) A101
- < S >
 Saito Atsushi (齋藤 篤思) P150
 Saito Kazuo (斉藤 和雄) B205
 Saitoh Sadao (斉藤 貞夫) B361
 Sakai Satoshi (酒井 敏) D101
 Sakai Tetsu (酒井 哲) D211
 Sakazaki Takatohshi (坂崎 貴俊) P165
 Sakurai Hidenori (桜井 秀宣) D259
 Sakurai Namiko (櫻井 南海子) B110
 Sameshima Ryoji (鮫島 良次) A258
 Sasai Takahiro (佐々井 崇博) P186
 Sasaki Hidetaka (佐々木 秀孝) P384
 Sasaki Shunsuke (佐々木 俊輔) B258
 Sassa Koji (佐々 浩司) C253
 Sato Kaori (佐藤 可織) C110
 Sato Kaoru (佐藤 薫) D306
 Sato Naoki (佐藤 尚毅) B119
 Sato Noboru (佐藤 昇) P175
 Sato Taiki (佐藤 大樹) D105
 Sato Takuya (佐藤 拓也) P381

- Sato Tomonori (佐藤 友徳) P143
 Sato Yosuke (佐藤 陽介) P110
 Satoh Masaki (佐藤 正樹) A355
 Satoh Shinsuke (佐藤 晋介) C255
 Satou Eiichi (佐藤 英一) P361
 Satou Yousuke (佐藤 陽祐) P349
 Sawada Masahiro (沢田 雅洋) B355
 Sawada Masahiro (沢田 雅洋) P356
 Seino Naoko (清野 直子) D104
 Seki Takanori (関 隆則) P176
 Sekizawa Shinya (関澤 信也) P107
 Seko Hiromu (瀬古 弘) B216
 Seko Hiromu (瀬古 弘) P308
 Sha Weiming (余 偉明) D108
 Shibasaki Tokiko (柴崎 登紀子) P114
 Shibata Kiyotaka (柴田 清孝) D308
 Shibata Takashi (柴田 隆) P319
 Shige Shoichi (重 尚一) C116
 Shigeta Yoshinori (重田 祥範) D112
 Shigeta Yoshinori (重田 祥範) D113
 Shimizu Kensaku (清水 健作) C362
 Shindo Eiki (新藤 永樹) P302
 Shinmura Shuhei (新村 周平) A209
 Shioyama Hideo (塩竈 秀夫) A204
 Shiraiwa Manabu (白岩 学) D207
 Shoji Yoshinori (小司 禎教) P306
 Shusse Yukari (出世 ゆかり) C261
 Sudou Kengo (須藤 健悟) D255
 Sueyoshi Masakazu (末吉 雅和) B257
 Sugawara Yuya (菅原 祐也) C254
 Sugimoto Norihiko (杉本 憲彦) P191
 Sugita Takafumi (杉田 考史) D256
 Sugiyama Akira (杉山 聡) P192
 Sugiyama Ko-ichiro (杉山 耕一朗) B304
 Sugiyama Masahiro (杉山 昌広) B308
 Suzuki Hiroto (鈴木 博人) D357
 Suzuki Junko (鈴木 順子) D301
 Suzuki Kosuke (鈴木 友祐) P117
- < T >
 Tabata Yoshikazu (田畑 悦和) B108
 Taguchi Bunmei (田口 文明) C303
 Taguchi Bunmei (田口 文明) P390
 Taguchi Masakazu (田口 正和) P134
 Tajiri Takuya (田尻 拓也) C104
 Takagi Masahiro (高木 征弘) B301
 Takahashi Hiroshi (高橋 宙) P372
 Takahashi Kiyotoshi (高橋 清利) A301
 Takahashi Kiyotoshi (高橋 清利) P383
 Takahashi Nobuhiro (高橋 暢宏) P139
 Takahashi Nobuto (高橋 信人) P183
 Takahashi Tsuneya (高橋 庸哉) P101
 Takahashi Yoshiyuki (高橋 芳幸) B303
 Takamura Chikako (高村 近子) D261
 Takano Yohei (高野 陽平) P326
 Takata Kumiko (高田 久美子) P389
 Takatama Kohei (高玉 孝平) C302
 Takayabu Izuru (高藪 出) P185
 Takayabu Yukari (高藪 縁) A354
 Takemi Tetsuya (竹見 哲也) B309
 Takemi Tetsuya (竹見 哲也) C209
 Takemura Masayuki (竹村 雅之) P376
 Takemura Toshiniko (竹村 俊彦) D204
 Takenaka Hideaki (竹中 栄晶) A310
- Takenaka Hideaki (竹中 栄晶) A353
 Takigawa Masayuki (滝川 雅之) A366
 Tanaka Etsuko (田中 悦子) P121
 Tanaka Hiroshi (田中 博) A104
 Tanaka Mariko (田中 真理子) P124
 Tanaka Taichu (田中 泰宙) P118
 Taniguchi Hiroshi (谷口 博) B118
 Taniguchi Hiroshi (谷口 博) B259
 Tashima Yoshiyuki (田島 成将) B307
 Terao Toru (寺尾 徹) B101
 Terasaki Koji (寺崎 康児) B253
 Tian Shao-fen (田 少奮) D372
 Tomikawa Yoshihiro (冨川 喜弘) D304
 Tomiya Yoshiaki (遠宮 善陽) P170
 Tomiyama Yoshiyuki (冨山 芳幸) A252
 Torii Tsukasa (鳥居 司) A114
 Toriumi Mitsugu (鳥海 貢) C351
 Tsuboki Kazuhisa (坪木 和久) C251
 Tsuchida Atsushi (槌田 敦) A217
 Tsugita Yutaka (次田 泰) P369
 Tsukamoto Yukio (塚本 幸生) P167
 Tsuruta Haruo (鶴田 治雄) D217
 Tsushima Yoko (對馬 洋子) A207
 Tsutsui Junichi (筒井 純一) B365
- < U >
 Uchida Tomoe (内田 智恵) P320
 Ueda Hiroaki (植田 宏昭) A116
 Uematsu Akihisa (植松 明久) C367
 Ueno Mitsuru (上野 充) B353
 Ueno Reichiro (植野 玲一郎) A257
 Ueta Akihiro (上田 哲大) P125
 Umemoto Yusaku (梅本 泰子) C260
 Umezawa Taku (梅澤 拓) P309
 Ushio Tomoo (牛尾 知雄) A358
 Ushiyama Tomoki (牛山 朋来) B112
- < W >
 Wada Akiyoshi (和田 章義) B358
 Wada Akiyoshi (和田 章義) P127
 Wakimizu Kenji (脇水 健次) P378
 Watanabe Akira (渡邊 明) C208
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) D212
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) P116
 Watanabe Masahiro (渡部 雅浩) A215
 Watanabe Masamichi (渡辺 雅倫) D210
 Watanabe Shingo (渡辺 真吾) D305
 Wu Peiming (伍 培明) A113
- < X >
 Xu Jianqing (徐 健青) D369
- < Y >
 Yagi Koji (八木 晃司) P133
 Yamada Hiroyuki (山田 広幸) B114
 Yamada Hiroyuki (山田 広幸) B360
 Yamada Hisashi (山田 尚志) P345
 Yamada Maromu (山田 丸) P315
 Yamaguchi Kosei (山口 弘誠) P304
 Yamamoto Masaru (山本 勝) B251
 Yamamoto Masayuki (山本 真之) B111
 Yamamoto Munehisa (山本 宗尚) A352
 Yamamoto Naoko (山本 直子) D213
 Yamamoto Takashi (山本 享) P375
- Yamane Yusuke (山根 悠介) B103
 Yamanouchi Akiko (山内 明子) C305
 Yamao Rieko (山尾 理恵子) P169
 Yamasaki Masanori (山岬 正紀) B351
 Yamashita Katsuya (山下 克也) C103
 Yamashita Kazuya (山下 和也) P164
 Yamashita Kensuke (山下 賢介) P360
 Yamashita Yousuke (山下 陽介) A106
 Yamaura Tsuyoshi (山浦 剛) P339
 Yamazaki Akihiro (山崎 明宏) C353
 Yamazaki Akira (山崎 哲) P331
 Yamazaki Hiroe (山崎 弘恵) B202
 Yamazaki Nobuo (山崎 信雄) D362
 Yanagino Takeshi (柳野 健) B261
 Yanagisawa Takatoshi (柳澤 孝寿) B310
 Yanase Wataru (柳瀬 亘) B366
 Yashiro Hisashi (八代 尚) D258
 Yasuda Tamaki (安田 珠幾) P336
 Yasunaga Kazuaki (安永 毅明) B116
 Yasunaga Kazuaki (安永 毅明) C212
 Yasunari Teppei-j. (安成 哲平) D214
 Yatagai Akiyo (谷田貝 亜紀代) D370
 Yohgai Toshiroh (用貝 敏郎) C204
 Yokoi Satoru (横井 覚) A112
 Yoneyama Kunio (米山 邦夫) C371
 Yorozu Kazuaki (萬 和明) P386
 Yoshida Akihiro (吉田 暁洋) C216
 Yoshida Ken-ichiro (吉田 研一郎) P353
 Yoshida Kenji (吉田 健二) P141
 Yoshida Kohei (吉田 康平) P332
 Yoshida Ryuhei (吉田 龍平) D111
 Yoshida Seiji (吉田 聖治) P365
 Yoshida Yukio (吉田 幸生) B313
 Yoshiike Satoki (吉池 聡樹) P181
 Yoshikane Takao (吉兼 隆生) D354
 Yoshimori Masakazu (吉森 正和) A201
 Yoshino Jun (吉野 純) B359
 Yoshino Jun (吉野 純) P158
 Yoshioka Mayumi (吉岡真由美) B352
 Yoshizaki Masanori (吉崎 正憲) B255
 Yudu Takeo (油津 雄夫) A256
 Yumimoto Keiya (弓本 桂也) P123
- < Z >
 Zhang Daizhou (張 代州) D215